

付表 5.6.2.1 農業普及活動の実施

- 1) 普及員は農民を知り自分を知ってもらう。
 - ①戸別訪問による農家調査を実施し農民の抱えている問題や地域の課題等を把握する。
 - ②圃場巡回、村落行事等への参加を積極的に行い、農民との信頼関係を強化する。
 - ③巡回指導の際、作物の品種、肥料、農薬などの見本、資料等を持参し効果を高める。

- 2) 農民の技術取得意欲を高め啓蒙を図る。
 - ①各種の実態調査や情報収集を実施し、農民に伝達する。
 - ②集団面接、座談会、集会での講話（パンフレット、、ポスター、ビデオ等視聴覚機材を利用すると効果が高い。）

- 3) 意欲のある農民と問題解決や課題達成の方法を吟味する。
 - ①問題や課題を明確にし、問題の解決や課題達成方法を発見する。
 - ②課題達成方法を吟味し、試験的な試みを実施する。
 - ③試験栽培グループなどの結成を促進する。

- 4) 先進的農民、地域の実践の成果の公表と普及対象地域への展開。
 - ①農民集会で実践者による経験談の発表やビデオでの紹介をおこなう。
 - ②先進圃場の現地見学会等を実施する。
 - ③先進地や普及対象地域の資料等を配付し、農民と検討会を実施する。

付表 5.6.2.2 農業普及員技術向上研修課題例

安塞県農業普及センター	
1. 県農業普及センター長	
①国、省、市と県における農業生産・流通・消費概況の把握	
②普及課題の把握と農業普及組織の運営と活動方針の企画法等	
③作物栽培技術の概略	
2. 県農業普及員	
①県内農業生産物の流通圏における農業生産・流通・消費などの概況	
②農業経営（営農）	
③作物栽培技術（専門技術課題）	
④重点的に改善すべき課題（品種、品質、栽培技術等）の効果的普及方法	
⑤農民組合の組織化	
⑥農業普及手法	
郷鎮農業総合サービスステーション	
1. ステーション長	
県農業普及員と同等の研修を受ける。	
2. 郷鎮農業普及員	
①陝西省、延安市、安塞における農業生産・流通・消費概況の把握	
②農家経営（営農）	
③作物栽培技術（農民に理解しやすい実地的な技術）	
④農家調査方法（農民の抱えている問題点、課題などの発掘調査）	
⑤農業普及手法（実習、視察、調査などの手段を活用すると共に視聴覚機材の操作、利用法を習得し、農民指導及び農民技術教室での指導が効果的に展開できる能力を培う）	

付属書 5.6.2. 技術競技出題と回答例

農業技術を学ぶために実際の物について学習することは興味をかき立てると共に効果的な方法である。実物学習をさらに興味深くするために競技（コンテスト）形式にしたものが技術競技である。このような競技は普及員研修等の研修終了時に実施すると研修効果を確認する評価方法として有効である。さらに、農民教育、研修の終了時に行っても効果的である。

これら技術競技は全て競技終了後すぐにその場で出題者から正解と詳しいその理由を解説することが重要である。成績の良い者を公表すると共に、可能であれば何らかの賞品などを用意すると受講者の興味と関心を増すことが出来る。ただし、複数の競技を同時に行うと複雑になるので、それぞれ単独で行うものとし、研修内容にもっとも合った競技を選んで実施する。

技術競技は次ぎに示すような方法で実施する。

1) 実物鑑定競技

種子、苗、肥料、農薬、病虫害、測定器具、農業機械等を多数陳列したものの名前を当て解答用紙に記入する。回答に当たっては展示物に手を触れたり、匂いをかぐことは認めるが、農薬など毒物もあることから口に入れることは禁止する。

この競技は実際の物を見る、かつ触ることにより確実な知識を得ることが出来るとともに鑑定能力を高めることにもなる。

鑑定競技一出題・回答例一

番号	品名	番号	品名
1	作物種子 (ダイズ)	11	砂糖
2	作物種子 (ササゲ)	12	害虫 A
3	作物苗 (ダイズ)	13	害虫 B
4	作物苗 (ササゲ)	14	病気 A
5	農薬 A	15	病気 B
6	農薬 B	16	被膜用ビニル
7	肥料 (窒素)	17	温室用ビニル
8	肥料 (燐酸)	18	農機具 A
9	肥料 (加里)	19	農機具 B
10	塩	20	メスシリンダー

2) 診断競技

農業に関係のある農作物や機械（現物や写真）などを展示し、異常や対処法などを解答用紙に記入する。例えば、作物の病害や虫害の症状とその対処法等農業生産の上で発生する種々の問題点等を取り上げる。

診断競技一出題、回答用紙例一

1. このトウモロコシの根の障害は何によるものか
2. この作物の葉の障害は何によるものか
3. この農機具は使えません、問題は何か

3) 測定競技

農業生産物、肥料、農薬等の計量、さらに日常生活で使われる数や量への関心を高めるため身近な物を利用して実施する。例えば農産物の重さ、ある地点までの距離などその数値を目測して当てる競技である。

測定競技一問題、回答用紙例一

1. このコムギは約1斤あります。およそ何粒ありますか
2. このアワの重さはおよそ何斤ありますか
3. 外につないである山羊の体重はおよそ何キロありますか
4. 外に見えるあの家までおよそ何メートル離れていますか
5. このコップ1杯の水はおよそ何 cc ありますか

注：この問題については、特に模範解答後特にそれぞれの目測方法などを教えることが望ましい。

4) 審査競技

研修等で指導した内容に基づき、数課題を出題する。各課題、例えば「作業手順」とか「苗木の良否」についての順位を、実物や写真で四つに区分（A.B.C.D）し、それらを順不同に展示する。回答者は展示物の比較審査をし、序列を付けて解答用紙に記入する。この競技では特別に用意した採点表により自己採点し、講師は模範解答と解説を行う。回答者は自己の得点を知ることによって理解度を把握することができる。講師は回答者の理解程度を知ることにより、次回の研修内容・方法等を考慮する判断材料とする。

審査競技—解答用紙例—

1.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5.	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

注：□内に A、B、C、D を品物（品質）の良い順に記入する。競技終了後の模範解答は欄の下に記入して採点表（次表）と照合する。

5) 審査競技採点表

No. 1

A B C D	A B D C	A D B C	A D C B	A C B D	A C D B
ABCD:100	ABDC:100	ADBC:100	ADCB:100	ACBD:100	ACDB:100
ABDC:85	ABCD:85	ADCB:85	ADBC:85	ACDB:85	ACBD:85
ADBC:70	ADBC:85	ABCD:70	ABCD:55	ABCD:85	ADCB:85
ADCB:55	ADCB:70	ABDC:85	ABDC:70	ABDC:70	ADBC:70
ACBD:85	ACBD:70	ACBD:55	ACBD:70	ADBC:55	ABDC:55
ACDB:70	ACDB:55	ACDB:70	ACDB:85	ADCB:70	ABCD:70
BACD:85	BACD:70	BACD:55	BACD:40	BACD:70	BACD:55
BADC:70	BADC:85	BADC:70	BADC:55	BADC:55	BADC:40
BCAD:70	BCAD:55	BCAD:40	BCAD:25	BCAD:55	BCAD:40
BCDA:55	BCDA:40	BCDA:25	BCDA:10	BCDA:40	BCDA:25
BDAC:55	BDAC:70	BDAC:55	BDAC:40	BDAC:40	BDAC:25
BDCA:40	BDCA:55	BDCA:40	BDCA:25	BDCA:25	BDCA:10
CABD:70	CABD:55	CABD:40	CABD:55	CABD:85	CABD:70
CADB:55	CADB:40	CADB:55	CADB:70	CADB:70	CADB:85
CBAD:55	CBAD:40	CBAD:25	CBAD:40	CBAD:70	CBAD:55
CBDA:40	CBDA:25	CBDA:10	CBDA:25	CBDA:55	CBDA:40
CDAB:40	CDAB:25	CDAB:40	CDAB:55	CDAB:55	CDAB:70
CDBA:25	CDBA:10	CDBA:25	CDBA:40	CDBA:40	CDBA:55
DABC:55	DABC:70	DABC:85	DABC:70	DABC:40	DABC:55
DACB:40	DACB:55	DACB:70	DACB:85	DACB:55	DACB:70
DBAC:40	DBAC:55	DBAC:70	DBAC:55	DBAC:25	DBAC:40
DBCA:25	DBCA:40	DBCA:55	DBCA:40	DBCA:10	DBCA:25
DCAB:25	DCAB:40	DCAB:55	DCAB:70	DCAB:40	DCAB:55
DCBA:10	DCBA:25	DCBA:40	DCBA:55	DCBA:25	DCBA:40
B A C D	B A D C	B C A D	B C D A	B D A C	B D C A
BACD:100	BADC:100	BCAD:100	BCDA:100	BDAC:100	BDCA:100
BADC:85	BACD:85	BCDA:85	BCAD:85	BDCA:85	BDAC:85
BCAD:85	BCAD:70	BDAC:55	BDAC:70	BACD:70	BCDA:85
BCDA:70	BCDA:55	BDCA:70	BDCA:85	BADC:85	BCAD:70
BDAC:70	BDAC:85	BACD:85	BACD:70	BCAD:55	BADC:70
BDCA:55	BDCA:70	BADC:70	BADC:55	BCDA:70	BACD:55
CABD:55	CABD:40	CABD:70	CABD:55	CABD:25	CABD:40
CADB:40	CADB:25	CADB:55	CADB:40	CADB:10	CADB:25
CBAD:70	CBAD:55	CBAD:85	CBAD:70	CBAD:40	CBAD:55
CBDA:55	CBDA:40	CBDA:70	CBDA:85	CBDA:55	CBDA:70
CDAB:25	CDAB:10	CDAB:40	CDAB:55	CDAB:25	CDAB:40
CDBA:40	CDBA:25	CDBA:55	CDBA:70	CDBA:40	CDBA:55
DABC:40	DABC:55	DABC:25	DABC:40	DABC:70	DABC:55
DACB:25	DACB:40	DACB:10	DACB:25	DACB:55	DACB:40
DBAC:55	DBAC:70	DBAC:40	DBAC:55	DBAC:85	DBAC:70
DBCA:40	DBCA:55	DBCA:55	DBCA:70	DBCA:70	DBCA:85
DCAB:10	DCAB:25	DCAB:25	DCAB:40	DCAB:40	DCAB:55
DCBA:25	DCBA:40	DCBA:40	DCBA:55	DCBA:55	DCBA:70
ABCD:85	ABCD:70	ABCD:70	ABCD:55	ABCD:55	ABCD:40
ABDC:70	ABDC:85	ABDC:55	ABDC:40	ABDC:70	ABDC:55
ADBC:55	ADBC:70	ADBC:40	ADBC:25	ADBC:55	ADBC:40
ADCB:40	ADCB:55	ADCB:25	ADCB:10	ADCB:40	ADCB:25
ACBD:70	ACBD:55	ACBD:55	ACBD:40	ACBD:40	ACBD:25
ACDB:55	ACDB:40	ACDB:40	ACDB:25	ACDB:25	ACDB:10

注：「評点の評価」を行う。太文字ABCDは模範解答、小文字abcdは研修者による回答とこれに対する点数。

審查競技採点表

No. 2

C A B D	C A D B	C B A D	C B D A	C D A B	C D B A
CABD:::100	CADB:::100	CBAD:::100	CBDA:::100	CDAB:::100	CDBA:::100
CADB::: 85	CABD::: 85	CBDA::: 85	CBAD::: 85	CDBA::: 85	CDAB::: 85
CBAD::: 85	CBAD::: 70	CDAB::: 55	CDAB::: 70	CBDA::: 70	CBDA::: 85
CBDA::: 70	CBDA::: 55	CDBA::: 70	CDBA::: 85	CBAD::: 55	CBAD::: 70
CDAB::: 70	CDAB::: 85	CABD::: 85	CABD::: 70	CADB::: 85	CADB::: 70
CDBA::: 55	CDBA::: 70	CADB::: 70	CADB::: 55	CABD::: 70	CABD::: 55
DABC::: 25	DABC::: 40	DABC::: 10	DABC::: 25	DABC::: 55	DABC::: 40
DACB::: 40	DACB::: 55	DACB::: 25	DACB::: 40	DACB::: 70	DACB::: 55
DBAC::: 10	DBAC::: 25	DBAC::: 25	DBAC::: 40	DBAC::: 40	DBAC::: 55
DBCA::: 25	DBCA::: 40	DBCA::: 40	DBCA::: 55	DBCA::: 55	DBCA::: 70
DCAB::: 55	DCAB::: 70	DCAB::: 40	DCAB::: 55	DCAB::: 85	DCAB::: 70
DCBA::: 40	DCBA::: 55	DCBA::: 55	DCBA::: 70	DCBA::: 70	DCBA::: 85
ABCD::: 70	ABCD::: 55	ABCD::: 55	ABCD::: 40	ABCD::: 40	ABCD::: 25
ABDC::: 55	ABDC::: 40	ABDC::: 40	ABDC::: 25	ABDC::: 25	ABDC::: 10
ADBC::: 40	ADBC::: 55	ADBC::: 25	ADBC::: 10	ADBC::: 40	ADBC::: 25
ADCB::: 55	ADCB::: 70	ADCB::: 40	ADCB::: 25	ADCB::: 25	ADCB::: 40
ACBD::: 85	ACBD::: 70	ACBD::: 70	ACBD::: 55	ACBD::: 55	ACBD::: 40
ACDB::: 70	ACDB::: 85	ACDB::: 55	ACDB::: 40	ACDB::: 70	ACDB::: 55
BACD::: 55	BACD::: 40	BACD::: 70	BACD::: 55	BACD::: 25	BACD::: 40
BADC::: 40	BADC::: 25	BADC::: 55	BADC::: 40	BADC::: 10	BADC::: 25
BCAD::: 70	BCAD::: 55	BCAD::: 85	BCAD::: 70	BCAD::: 40	BCAD::: 55
BCDA::: 55	BCDA::: 40	BCDA::: 70	BCDA::: 85	BCDA::: 55	BCDA::: 70
BDAC::: 25	BDAC::: 10	BDAC::: 40	BDAC::: 55	BDAC::: 25	BDAC::: 40
BDCA::: 40	BDCA::: 25	BDCA::: 55	BDCA::: 70	BDCA::: 40	BDCA::: 55
D A B C	D A C B	D B A C	D B C A	D C A B	D C B A
DABC:::100	DACB:::100	DBAC:::100	DBCA:::100	DCAB:::100	DCBA:::100
DACB::: 85	DABC::: 85	DBCA::: 85	DBAC::: 85	DCBA::: 85	DCAB::: 85
DBAC::: 85	DCAB::: 55	DCAB::: 55	DCAB::: 70	DBCA::: 70	DBCA::: 85
DBCA::: 70	DCBA::: 70	DCBA::: 70	DCBA::: 85	DBAC::: 55	DBAC::: 70
DCAB::: 70	DABC::: 85	DABC::: 85	DABC::: 70	DABC::: 70	DABC::: 55
DCBA::: 55	DACB::: 70	DACB::: 70	DACB::: 55	DACB::: 85	DACB::: 70
ABCD::: 55	ABCD::: 40	ABCD::: 40	ABCD::: 25	ABCD::: 25	ABCD::: 10
ABDC::: 70	ABDC::: 55	ABDC::: 55	ABDC::: 40	ABDC::: 40	ABDC::: 25
ADBC::: 85	ADBC::: 70	ADBC::: 70	ADBC::: 55	ADBC::: 55	ADBC::: 40
ADCB::: 70	ADCB::: 55	ADCB::: 55	ADCB::: 40	ADCB::: 70	ADCB::: 55
ACBD::: 40	ACBD::: 25	ACBD::: 25	ACBD::: 10	ACBD::: 40	ACBD::: 25
ACDB::: 55	ACDB::: 40	ACDB::: 40	ACDB::: 25	ACDB::: 55	ACDB::: 40
BACD::: 40	BACD::: 55	BACD::: 55	BAGD::: 40	BACD::: 10	BACD::: 25
BADC::: 55	BADC::: 70	BADC::: 70	BADC::: 55	BADC::: 25	BADC::: 40
BCAD::: 25	BCAD::: 40	BCAD::: 40	BCAD::: 55	BCAD::: 25	BCAD::: 40
BCDA::: 40	BCDA::: 55	BCDA::: 55	BCDA::: 70	BCDA::: 40	BCDA::: 55
BDAC::: 70	BDAC::: 85	BDAC::: 85	BDAC::: 70	BDAC::: 40	BDAC::: 55
BDCA::: 55	BDCA::: 70	BDCA::: 70	BDCA::: 85	BDCA::: 55	BDCA::: 70
CABD::: 25	CABD::: 10	CABD::: 10	CABD::: 25	CABD::: 55	CABD::: 40
CADB::: 40	CADB::: 25	CADB::: 25	CADB::: 40	CADB::: 70	CADB::: 55
CBAD::: 10	CBAD::: 25	CBAD::: 25	CBAD::: 40	CBAD::: 40	CBAD::: 55
CBDA::: 25	CBDA::: 40	CBDA::: 40	CBDA::: 55	CBDA::: 55	CBDA::: 70
CDAB::: 55	CDAB::: 40	CDAB::: 40	CDAB::: 55	CDAB::: 85	CDAB::: 70
CDBA::: 40	CDBA::: 55	CDBA::: 55	CDBA::: 70	CDBA::: 70	CDBA::: 85

付表 5.6.2.3 農業教育、研修の課題例

- 1) 農家経営 (営農)
 - ①経営診断と営農計画 (農家経営状況の把握と効率の高い営農計画作成指導など)
 - ②圃場の診断と作物導入計画 (栽培環境条件の把握と作物の選定など)
 - ③環境・土壌保全型農業 (環境負荷軽減のための施肥法や病害虫防除法など)
- 2) 農業生産技術
 - ①作物栽培前の研修 (栽培前に各作物に対し、作付け方法や基本的な栽培、管理法など具体的な栽培方法)
 - ②作物収穫後の研修 (栽培の評価と次期栽培での対応策)
 - ③その他の課題研修 (病害虫防除、堆肥作成と利用、林業、畜産等個別課題)
 - ④流通研修 (生産動向、市場情報、品質管理等)
 - ⑤組織化研修 (共同作業、共同購入、選果、出荷等)
- 3) 農村青年教育 (農業後継者である農村青年の農業技術、知識の向上)
 - ①農村青少年の活動についての話し合いの場を設定し、相互に自分たちの問題点等についての討議や技術の交換交流等を行う「農村青年会議」などの開催
 - ②青少年による農業経営、農業技術、生活改善など研究の実施。
- 4) 農村婦人教育 (生活改善)
 - ①生活改善活動の促進
農村婦人との話し合いにより生活上の問題点を明確にして、問題の解決を図る。
 - ②農業経営日誌の記帳
自家の農業経営状態が判るように、まず、簡単な日常の農業活動日誌記帳から始める。慣れてきてから順次経営状態が把握できるような農業収支の記帳及びその分析方法を指導する。これにより健全な農家経営の促進を図る。
 - ③家計簿の記帳、分析検討
食費、衣料費、医療費、教育費など家計に係わる諸経費と収入とのバランスを把握するため家計簿の記帳とその分析方法の指導を行う。これにより計画的でバランスのとれた生活設計の促進を図る。
 - ④先進地域のビデオ教材等の上映と話し合い
先進農業地域農民の生活を紹介する事により、自分たちの生活とどこが違うのか、改善する点があるのかなどを話し合う。それにより自分たちの生活を見直し、改良する意欲を促進する。
 - ⑤家庭菜園を利用した豊かな食生活
食生活に合わせた家庭菜園における野菜類の計画的な栽培方法と野菜類の調理法などを指導することによる食生活の多様化などを促進する。
 - ⑥家族の健康維持・増進のための食生活
栄養士などの講師による食生活の見直しを行い、家族の健康維持・増進のための食生活について話し合う。栄養バランスのとれた食生活を考え、適したメニューや料理法などの講習を行う。
 - ⑦自家生産物利用の農畜産物加工講習会
農村婦人の意向や要望を確認する。要望の多い物から講習を始めると婦人たちの受講意欲が高まり効果的である。身近で重要なことは食料品の保存方法である。これらには野菜の漬け物や乾燥品の製造がある。さらに、商品価値のある羊毛の加工やリンゴ、アンス等果実類の乾燥品、ジャムなどの製造等を行う。
- 5) 農村社会の活性化
 - ①収穫祭等村落単位のイベントの企画
 - ②収穫物や家畜などの展示や品評会、農業機械類の展示、技術競技会等の実施。

付表5.6.8.1 農民支援事業費明細

項 目	品 名	規 格	事業量	単 価 (元)	合 計 (千元)	
(1) 農業技術普及計画 ①本部ビル施設	普及センター	500㎡	1	350,000	350.00	
	(ブロック平屋、 事務所、研修 室、倉庫)				0.00	
	事務機		18	500	9.00	
	事務椅子		18	300	5.40	
	研修室机	二人用	25	300	7.50	
	研修室椅子	一人用	50	150	7.50	
	小 計				379.00	
	②資機材整備	農用トラクタ	付属品付き	2	23,000	46.00
		車輛	マイクロバス	1	100,000	100.00
		車輛(單車)	100cc	10	5,100	51.00
		テレビ	29インチ	2	6,000	12.00
		ビデオカメラ	VHS	2	6,000	12.00
		ビデオデッキ	VHS	2	2,000	4.00
		ビデオ編集機	VHS	2	2,000	4.00
温室		450㎡	1	12,000	12.00	
動力噴霧器		18-BC	2	1,100	2.20	
背負式噴霧器		工農-16	2	150	0.30	
背負式ハブスター		3MF-4	2	1,500	3.00	
実験台		標準型	1	2,200	2.20	
台秤		100kg	1	2,400	2.40	
上皿天秤		20kg	1	1,000	1.00	
上皿天秤		10kg	2	1,000	2.00	
天秤秤		1-50g	2	1,050	2.10	
メスシリンダー		1000ml	2	120	0.24	
//		100ml	2	100	0.20	
//		10ml	2	100	0.20	
小 計					257.00	
合 計					636.00	
(2) 郷鎮総合サービス ステーション 整備強化計画 (農民教育機器)		オートバイ	100cc	25	5,100	127.50
		テレビ	29インチ	5	6,000	30.00
	ビデオデッキ	VHS	5	2,000	10.00	
	実体顕微鏡		5	2,500	12.50	
	上皿天秤	20kg	10	1,000	10.00	
	上皿天秤	10kg	10	1,000	10.00	
	天秤秤	1-50g	10	1,050	10.50	
	メスシリンダー	1000ml	10	120	1.20	
	//	250ml	10	100	1.00	
	//	10ml	10	100	1.00	
小 計				213.70		
(3) 行政村農民教育施設強化計画	農民技術教室	102			16,162.00	
(4) 植物保護センター整 強化計画	小型トラック	750kg	1	13,000	13.00	
	誘蛾灯	太陽電池式	5	12,000	60.00	
	動力噴霧器	18-BC	5	1,100	5.50	
	背負式噴霧器	工農-16	5	150	0.75	
	背負式ハブスター	3MF-4	5	1,500	7.50	
	足踏噴霧器	車輪式	5	300	1.50	
	実体顕微鏡		2	2,400	4.80	
	顕微鏡		2	1,800	3.60	
	小 計				97.00	
総 計				17,109.00		

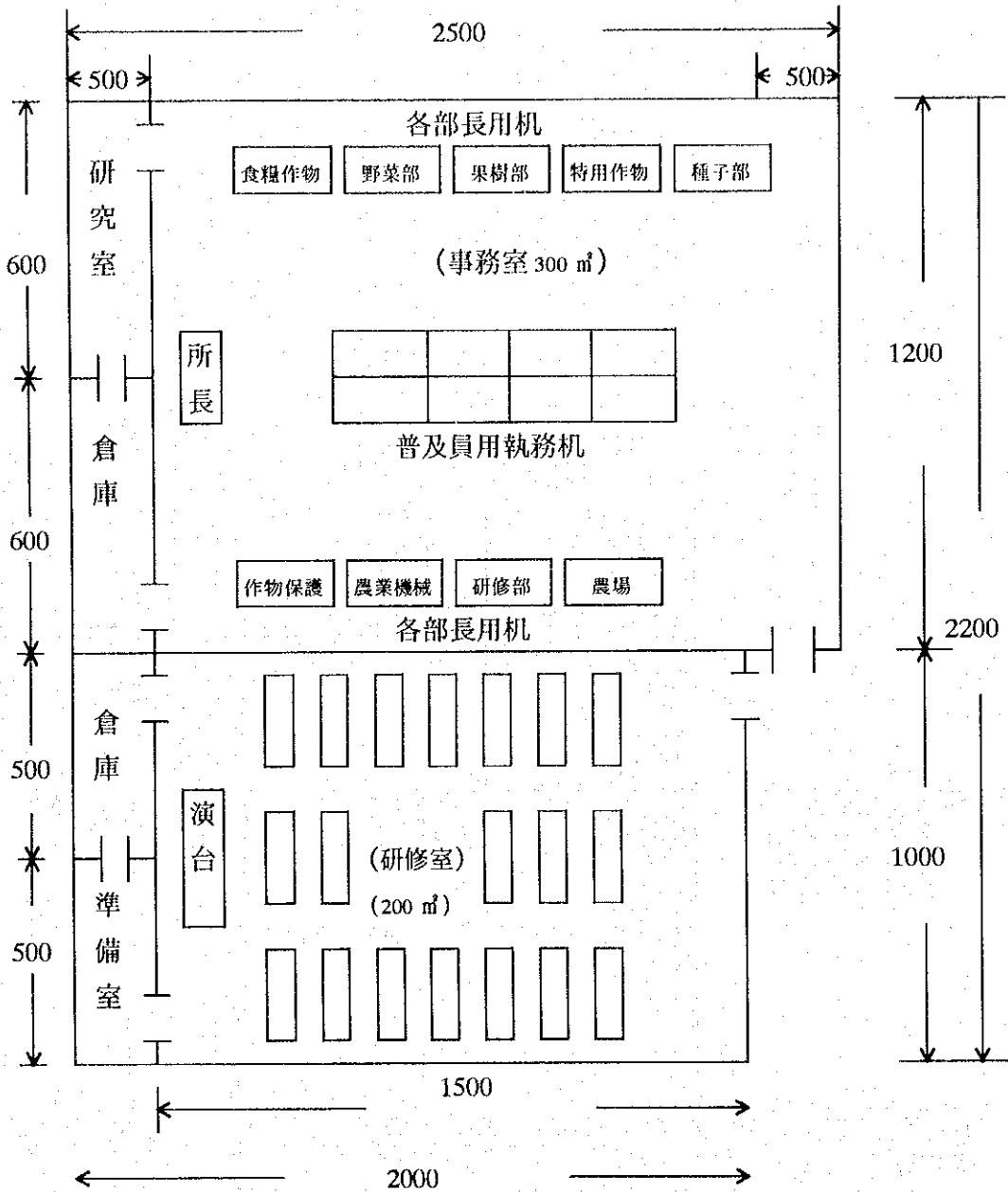
注：①合計欄は四捨五入した。

②普及センター本部ビル設計概念図は1)を参照

③農民技術教室詳細は2)を参照

④農民技術教室設計概念図は3)を参照

1) 県農業普及センター建設計画概念図 (単位 cm)



2) 行政村別農民技術教室建設規模 (1)

農民教室 1㎡当たり 700元
机・椅子木製2人用1組300元

鄉鎮	NO	行政村名	戶數 (戶)	勞働人口 (人)	教室面積 (㎡)	事業費 (千元)	机・椅子 (組)	事業費 (千元)	総事業費 (千元)
真武洞	1	馮家營	417	534	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	2	白坪	249	306	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	3	真郊	189	270	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	4	徐家溝	324	433	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	5	東營	304	433	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	6	方界寺	149	200	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	7	汪岔	133	167	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	8	湯家河*	160	235	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	9	張家坨*	165	213	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	10	李圪塔*	152	217	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	11	任塌*	58	91	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	12	杜庄*	201	290	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	13	陳家抓	159	263	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	14	五里灣	96	125	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	15	大西抓	95	114	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	16	沙塔溝	119	138	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	17	中咀峁	142	185	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	18	関仙咀	183	246	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	19	廟灣	127	185	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	20	陽庄	132	165	200	140.0	50.0	15.0	155.0
		小計	3554	4450	4450	3,115.0	1,114.0	334.2	3,449.2
沿河灣	1	楊家溝	78	252	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	2	白家溝	126	136	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	3	侯家溝	80	100	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	4	李家灣	202	198	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	5	閻塔	46	150	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	6	史家溝	45	100	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	7	孫家溝	70	110	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	8	馬家溝	136	211	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	9	前街	95	190	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	10	后街	82	120	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	11	碟子溝	136	188	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	12	磚窖溝	73	126	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	13	方家河	105	110	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	14	崖窖	99	178	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	15	寨子灣	178	502	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	16	黃崖根	80	120	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	17	閻家灣	230	332	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	18	侯溝門	186	421	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	19	云坪	142	220	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	20	茶坊	180	175	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	21	寺ヨウ燈	119	100	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	22	坊塌	118	230	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	23	畔坡山	42	50	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	24	劉庄	176	277	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	25	辺牆	258	259	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	26	賣家抓	182	321	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	27	高家坨	110	171	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	28	王家河	136	259	300	210.0	75.0	22.5	232.5
		小計	3510	5606	5650	3,955.0	1,416.0	424.8	4,379.8
		合計	7064	10056	10100	7,070.0	2,530.0	759.0	7,829.0

注: *は典型区内行政村

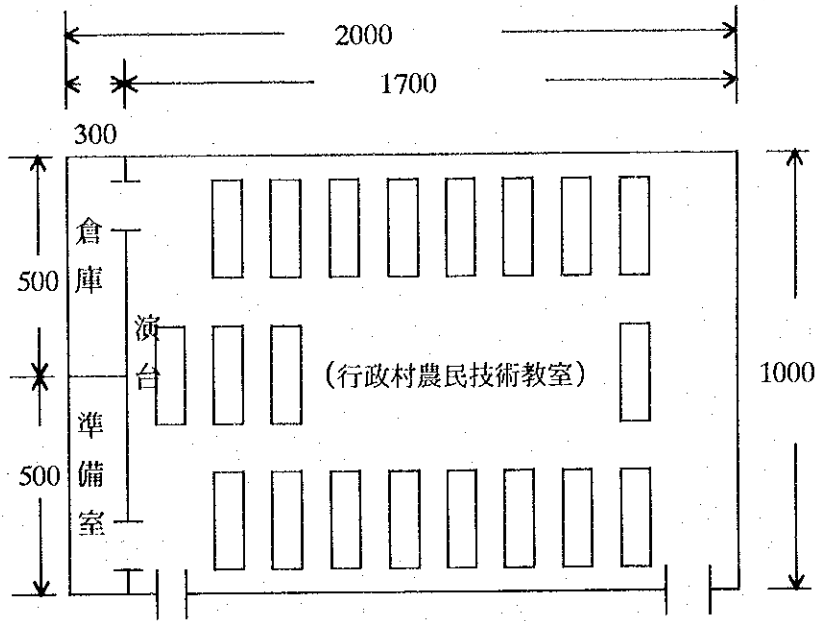
行政村農民技術教室建設規模 (2)

農民教室 1㎡当たり 700元
机・椅子木製2人用 1組300元

鄉鎮	NO	行政村名	戶數 (戶)	勞働人口 (人)	教室面積 (㎡)	事業費 (千元)	机・椅子 (組)	事業費 (千元)	總事業費 (千元)
郝家坪	1	郝家坪	94	94	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	2	橋坪	120	113	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	3	仙人橋	215	208	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	4	圓子灣*	105	102	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	5	新窩坪	229	233	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	6	肖官坪	189	185	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	7	寺溝	184	292	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	8	新茂台	97	106	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	9	畔溝	107	100	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	10	王龍壩	165	162	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	11	蛇溝	205	197	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	12	雷灣	129	125	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	13	雷家河	104	92	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	14	楊桐	185	160	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	15	龍安	102	98	100	70.0	25.0	7.5	77.5
		小計	2230	2267	2400	1,680.0	602.0	180.6	1,860.6
招安	1	招安	118	170	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	2	百坪	198	320	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	3	楊咀	105	190	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	4	三王溝	90	170	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	5	碾盤溝	74	140	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	6	閻庄	137	215	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	7	大新庄料	154	255	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	8	康岔	131	230	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	9	九台	97	160	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	10	前山	128	190	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	11	粟灣	120	190	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	12	周石窩	72	100	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	13	周屯	146	295	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	14	張新窩	134	215	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	15	李塌	164	260	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	16	龍石頭	89	130	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	17	楊圪堵	126	210	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	18	王溝門	126	180	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	19	謝屯	130	190	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	20	李石窩	105	135	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	21	岳中庄	101	180	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	22	柴新庄	85	145	150	105.0	38.0	11.4	116.4
		小計	2630	4270	4500	3,150.0	1,127.0	338.1	3,488.1
王窯	1	林溝	70	148	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	2	樊庄	162	316	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	3	李家溝	157	284	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	4	小橋溝	115	222	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	5	白渠	130	251	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	6	高溝口	223	393	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	7	高橋	190	252	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	8	王窩	235	319	300	210.0	75.0	22.5	232.5
	9	白台	90	150	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	10	庄料	115	155	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	11	百家抓	34	70	100	70.0	25.0	7.5	77.5
	12	吳家灣	75	157	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	13	康廟	60	121	150	105.0	38.0	11.4	116.4
	14	曹咀	83	157	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	15	王台	84	175	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	16	寺要嶺	90	190	200	140.0	50.0	15.0	155.0
	17	馮庄	182	334	300	210.0	75.0	22.5	232.5
		小計	2095	3694	3850	2,695.0	964.0	289.2	2,984.2
		合計	6955	10231	10750	7,525.0	2,693.0	807.9	8,332.9
總計			14,019.0	20,287.0	20,850.0	14,595.0	5,223.0	1,566.9	16,161.9

注：*は典型区内行政村

3) 行政村農民技術教室建設計画概念図 (200 m²を基準とした。単位は cm)



付属書5.7.4.1 青果物卸売市場整備計画

1) 青果物生産量と卸売市場での取扱量 (単位: t)

品名	生産量			卸売市場取扱量	
	調査地域	その他	県全体	年取扱量	ピーク時の日取扱量
キュウリ	5,400	4,200	9,600	7,683	月別取扱計画によるとピークは9月で7,881tの扱い量 7,881t ÷ 25日 × 1.1 = 350t/日
トマト	5,500	4,300	9,800	7,850	
ハクサイ	4,200	3,300	7,500	6,000	
インゲンマメ	2,100	1,650	3,750	3,000	
トウガラシ	1,750	1,400	3,150	2,518	
その他	3,550	2,850	6,400	5,105	
計	22,500	17,700	40,200	32,156	

注: 品名別の生産量は市場での取扱量等から推計したものである。

2) 卸売市場での月別取扱計画

品名	月別取扱計画 (ピーク時)							ピーク月取扱量 (9月)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
キュウリ	1,060	480	1,440	960	841	1	1	7,881t ÷ 25日 × 1.1 = 350t/日
トマト	10	20	30	875	2,200	2,800	1,705	
ハクサイ						2,500	3,500	
インゲンマメ				200	1,250	1,150	400	
トウガラシ	2	2	2	507	607	700	700	
その他	270	80	155	610	620	730	780	
計	1,342	582	1,627	3,152	5,518	7,881	7,086	

3) 青果物卸売市場整備内容

区分	整備内容	備考
建物施設	取引所 鉄骨造 3,000 m ² (ピーク時 350t/日)	3棟 × 1,000 m ² 宿泊施設を含む
	冷蔵庫 RC造 500 m ² (容量 350 t)	
	事務所 ブロック造 300 m ²	
	貸事務所 RC造 2F 700 m ²	
	厚生棟 RC造 2F 800 m ²	
	その他 車庫資材庫 200 m ² 、小売店舗 500 m ² 、 廃棄物場 100 m ²	
機械器具	電算機 1式	
	事務機器 1式	
	車両 ジープ、保冷車	

4) 所要事業費 (単位: 千元)

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考
建物施設	取引所	鉄骨造	3,000 m ²	400	1,200	50 × 10 m ² + 200
	冷蔵庫	RC造	500 m ²	4,000	2,000	
	事務所	ブロック造	300 m ²	500	150	
	貸事務所	RC造	700 m ²	900	630	
	厚生棟	RC造	800 m ²	900	720	
	車庫資材庫	ブロック造	200 m ²	500	100	
	小売店舗	ブロック造	500 m ²	500	250	
	廃棄物場	鉄骨造	100 m ²	400	40	
小計					5,090	

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考	
機械器具	事務用機器	電子計算機	2台	60	120		
		コピー機	1台		10		
		電話	10台	3	30		
		FAX	2台	3	6		
		構内放送	1式		15		
		その他	1式		20		
		小計				201	
	車両	ジープ	1台			250	
		フォークリフト	2台	30	60		
		保冷車	2台	400	800		
小計				1,100			
小計				1,311			
その他	電気施設		1式		200		
	用水施設		1式		20		
	敷地整備		1.6ha	30	480		
小計				700			
計					7,101		

5) 要員計画

区分	業務分野	人数	備考
常勤	総責任者	1	
	総務経理	3	
	営業	3	
	施設管理	5	全体、機械施設、冷蔵庫
	取引管理	6	3棟×2人
	小売店舗	3	
	サービス管理	3	宿泊関係は外注方式
	小計	24	
臨時	市場整理	15	3棟×5人、12ヶ月
計		39	

6) 経営計画

(単位：千元)

区分	金額	備考	
収入	取扱手数料	1,576	$32,156t \times 0.7 \times 1,400 \text{ 元/t} \times 0.05$
	事務所賃料	300	50社×500元×12月
	計	1,876	
支出	人件費	337	$17+23 \text{ 人} \times 10+15 \text{ 人} \times 0.5 \times 12 \text{ 月}$
	福利厚生費	60	5,000元/月×12月
	光熱水料費	60	5,000元/月×12月
	陳列棚等経費	96	8,000元/月×12月
	貸事務所費	180	15,000元/月×12月
	修繕費	213	$7,101 \times 0.03$
	営業経費	60	輸送、通信、宣伝、5,000元/月×12月
	施設償却費	367	$(5,090 \times 0.9 \div 20 \text{ 年}) + (1,531 \times 0.9 \div 10 \text{ 年})$
	支払利子	40	$1,006 \times 0.5 \times 0.08$
	租税公課	66	$1,876 \text{ 千元} \times 0.07 \times 0.5$
	その他	94	$1,876 \text{ 千元} \times 0.05$
	計	1,573	
差引	303		

付属書5.7.4.2 家畜市場整備計画

1) 家畜市場での取扱頭数 (単位: 頭、%)

畜種	市場上場頭数			市場1カ所当たり取扱頭数	
	出荷頭数	上場率	上場頭数	取扱頭数	1開催日当たりの取扱頭数
牛	2,579	80	2,063	1,030	大動物 1,230頭 ÷ 36回 = 30頭
ロバラバ	800	50	400	200	
小計	3,379		2,463	1,230	
子牛	3,661	80	2,928	1,464	1,464頭 ÷ 36回 = 40頭
緬山羊	51,087	70	35,760	17,880	17,880頭 ÷ 18回 = 990頭
豚	120,433	0	0	0	市場を通さず直接取引
子豚	119,676	50	59,838	29,919	29,919頭 ÷ 36回 = 830頭
計	301,615		100,989	49,263	計 1,890頭

2) 家畜市場整備内容

区分	整備内容	備考
建物施設	取引所 鉄骨造 400 m ² (ピーク時頭数 1,890 頭/回) 繋留所 鉄骨造 1,500 m ² (収容頭数 1,890 頭) 事務所 ブロック造 200 m ² その他 厚生棟 200 m ² 、敷料庫 100 m ² 、堆肥置場 21 m ²	
機械器具	電算機 1式 事務機器 1式 車両 ジープ	取引成績整理

3) 所要事業費 (単位: 千円)

区分	施設名	構造規格	数量	単価	事業費	備考
建物施設	取引場	ブロック造	400 m ²	1,100	440	
	繋留所	ブロック造	1,500 m ²	400	600	
	事務所	ブロック造	200 m ²	500	100	
	厚生棟	ブロック造	200 m ²	500	100	
	敷料庫	ブロック造	100 m ²	400	40	
	堆肥置場	RC造	21 m ²	150	3	
小計					1,283	
機械器具	事務用機器	電子計算機	1台		60	
		コピー機	1式		10	
		電話	1台		3	
		FAX	1台		3	
	その他				20	
小計					96	
車両	ジープ		1台		250	
小計					250	
小計					346	
その他	電気施設		1式		20	
	用水施設		1式		20	
	敷地整備		0.8ha	30	240	
小計					280	
計					1,909	1カ所当たり
合計					3,818	2カ所

4) 家畜市場開催計画

	上 場 家 畜	開 催 方 法	備 考
通常開催	牛、ロバ・ラバ 子牛、子豚	年間開催 10日に1回開催	年間 36回開催
季節開催	緬羊、山羊	8月～1月 10日に1回開催	

5) 要員計画(1カ所当たり)

区分	業務分野	人 数	備 考
常勤	総責任者	1	36回×12人×4日/回
	総務経理	1	
	取引管理	4	
臨時	市場整理	(延 1,728 人)	
	計	6	

6) 経営計画(1カ所当たり)

(単位：千元)

区 分		金 額	備 考
収 入	取扱手数料	556	牛〔(905 × 1,200)+ロバ・ラバ(280 × 1,000)+子牛 (1,280 × 400)+緬山羊(17,880 × 235)+子豚 (41,885 × 150)〕 × 0.045
	計	556	
支 出	人件費	96	17+5人 × 10+1,728人 × 17
	福利厚生費	12	1,000元/月 × 12月
	敷料購入費	6	500元/月 × 12月
	光熱水料費	6	500元/月 × 12月
	修繕費	38	1,909 × 0.02
	営業経費	36	輸送、通信、宣伝、3,000元/月 × 12月
	施設償却費	92	(1,283 × 0.9 ÷ 20年) + (386 × 0.9 ÷ 10年)
	支払利子	8	194 × 0.5 × 0.08
	租税公課	19	556千元 × 0.07 × 0.5
	その他	28	556千元 × 0.05
	計	341	
差 引		215	

付属書5.7.4.3 果実選果場整備計画

1) 果実生産量と選果施設での取扱量 (単位: t)

品名	生産量 (調査地域)	選果施設取扱量			備考
		年取扱量	同1カ所当り	同1ヶ月の日取扱量	
リンゴ	17,800	12,980	4,320	ピーク時: 10月、11月 800t ÷ 30日 = 27t/日	
ナシ	1,400	820	270		
モモ	400	200	60		
計	19,600	14,000	4,650		

2) 選果施設での月別取扱計画(1カ所当たり) (単位: t)

品名	月別取扱計画								合計	備考
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12~2月	3月		
リンゴ				440	690	690	690	430	4,320	
ナシ				50	110	110			270	
モモ	10	50							60	
計	10	50		490	800	800	690	430	4,650	
摘要	(ピーク時: 10月、11月) 800t ÷ 30日 = 27t/日(1カ所当り)									

3) 選果施設整備内容(1カ所当り)

区分	整備内容	備考
建物施設	選果場 鉄骨造 1,120 m ² (ピーク時 27t/日) 冷蔵庫 RC造 180 m ² (容量 135 t) 集積場 鉄骨造 390 m ² (吹き抜け) 事務所 ブロック造 300 m ² 厚生棟 ブロック造 200 m ² その他 車庫資材庫 200 m ²	
機械器具	選果機械 1式 電算機 1式 事務機器 1式 車両 ジープ、フォークリフト、保冷車	選果成績整理

4) 所要事業費 (単位: 千元)

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考	
建物施設	選果場	鉄骨造	1,120 m ²	400	448	容量 135t	
	冷蔵庫	RC造	180 m ²	4,000	720		
	集積場	鉄骨造	390 m ²	400	156		
	事務所	ブロック造	300 m ²	500	150		
	厚生棟	ブロック造	200 m ²	500	100		
	車庫	ブロック造	200 m ²	500	100		
	資材庫	ブロック造	200 m ²	500	100		
小計					1,674		
機械施設	選果機械		1式		1,000		
小計					1,000		
機械器具	事務用機器	電子計算機	1台		60		
		コピー機	1台		10		
		電話	1台		3		
		FAX	1台		3		
		その他			10		
	小計					86	
	車両	ジープ	1台		250		
	フォークリフト	1台		30			
	保冷車	1台		400			
小計					650		
小計					766		

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考
その他	電気施設 用水施設 敷地整備		1式		200	
			1式		20	
			0.9ha		270	
					490	
小計					3,930	1カ所当たり
合計					11,790	3カ所

5) 要員計画(1カ所当たり)

区分	業務分野	人数	備考
常勤	総責任者	1	全体、機械施設、冷蔵庫 36回×12人×4日/回 9ヶ月
	総務経理	2	
	営業	3	
	施設管理	3	
	作業管理	2	
臨時	選果作業	20	
	計	31	

6) 経営計画(1カ所当たり)

(単位：千元)

区分	金額	備考	
収入	取扱手数料	1,023	
	計	1,023	
支出	包装費	205	$4,650t \times 2,200 \text{ 元/t} \times 0.02$
	人件費	207	$17+10 \text{ 人} \times 10+20 \text{ 人} \times 0.5 \times 9 \text{ 月}$
	福利厚生費	36	$3,000 \text{ 元/月} \times 12 \text{ 月}$
	光熱水料費	24	$2,000 \text{ 元/月} \times 12 \text{ 月}$
	修繕費	79	$3,930 \times 0.02$
	営業経費	36	輸送、通信、宣伝、 $3,000 \text{ 元/月} \times 12 \text{ 月}$
	施設償却費	164	$(1,674 \times 0.9 \div 20 \text{ 年}) + (986 \times 0.9 \div 10 \text{ 年})$
	支払利子	23	$568 \times 0.5 \times 0.08$
	租税公課	36	$1,023 \text{ 千元} \times 0.07 \times 0.5$
	その他	51	$1,023 \text{ 千元} \times 0.05$
	計	861	
差引	162		

付属書5.7.5.1 澱粉加工施設整備計画

1) バレイシヨの生産と加工計画 (単位: ha, t)

区分	調査地域	その他	県全体	加工施設の整備規模	
生産	作付面積	1,950	2,964	4,914	新設する加工施設の規模 原料薯 2,400t/年処理 原料薯 13t/日処理(180日稼働) 澱粉 480t/年加工 春雨 240t/年製造
	単位収量	22.0	22.0	22.0	
	生産量	42,900	65,208	108,108	
流通	生食向け	12,870	19,562	32,432	
	加工向け	30,030	45,646	75,676	
	自加工	12,012	18,258	32,488	
	県外 (割合)	13,218 (73)	18,988 (69)	32,206 (69)	
	県内 (割合)	4,800 (27)	8,400 (31)	13,200 (31)	
加工	澱粉製造	4,800	8,400	13,200	
	同製品量	960	1,680	2,640	
	春雨製造	480	-	-	

加工向けの生産量としては、秋に収穫する芋類のうちバレイシヨを対象とする。生産量の30%が生食用、種芋用、家畜飼料向けに利用され、70%が加工用に向けられる。加工向けの内、農家が自給的に加工するのが40%で、残りの30%が工場加工用に向けられる。

【加工内容】

①澱粉製造

農家が生産したバレイシヨを集荷し、澱粉を生産する。

〔加工工程〕

バレイシヨ → 洗 淨 → 磨 碎 → 篩い分け → 沈 澱 → 分 離 → 乾 燥

包 装 → 出 荷

②春雨製造

生産された澱粉を使用し、春雨を生産する。

〔加工工程〕

澱 粉 → 調合攪拌 → 押出成形 → 裁 断 → 乾 燥 → 包 装 → 出 荷

2) 澱粉加工施設の整備内容

区分	整 備 内 容	備 考
建物施設	加工場 ブロック平屋建 1棟 520 m ²	澱粉 400 m ² 、春雨 120 m ² 事務所、厚生棟、製品庫
	原料薯保管庫 ブロック平屋建 1棟 200 m ²	
	管理棟 ブロック2F建 1棟 700 m ²	
	污水处理施設 RC造 100 m ²	
	その他 貯水槽 100 m ² 、車庫資材庫 200 m ²	
機械器具	澱粉製造機械 1式	
	春雨製造機械 1式	
	車両(トラック1台、ジープ1台)	

3) 所要事業費

(単位：千元)

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考
建物施設	加工場	ブロック造	520 m ²	700	364	2棟
	原料薯保管庫	ブロック造	200 m ²	700	140	
	管理棟	ブロック造 2F	700 m ²	900	630	
	車庫資材庫	ブロック造	200 m ²	500	100	
	貯水槽	RC造	100 m ²	1,100	110	
	污水处理施設	RC造	100 m ²	5,000	500	
小計					1,844	
加工機械	加工機械		1式		300	
機械器具	事務用機器	電子計算機	1台		60	
		コピー機	1式		10	
		電話	2台	3,000	6	
		FAX	1台		3	
	その他				20	
小計					99	
その他	小計				250	
	車両	ジープ	1台		250	
その他	小計				90	3t
	トラック		2台	45,000	90	
その他	小計				340	
	電気施設		1式		50	
その他	用水施設		1式		100	
	敷地整備		0.2ha	30	60	
小計					210	
小計					2,793	

4) 要員計画

管 理 部 門				現 業 部 門			
区分	業務分野	人数	備考	区分	業務分野	人数	備考
常勤	総責任者	1		常勤	責任者	1	
	総務経理	1			原料集荷	1	
	営業	1			澱粉加工	2	
	施設機械	1			春雨加工	2	
	電気用水	1			作業員	10	
	品質管理	1			計	16	
小計		6		季節	作業員	10	9月～2月

5) 経営計画

(単位：千元)

区分	金額	備考	
収入	澱粉販売	960	480t × 0.5 × 4,000 元
	春雨販売	1,440	480t × 0.5 × 6,000 元
	澱粉粕販売	57	(2,400-480) × 30 元
	計	2,457	
支出	原料購入費	960	2,400t × 400 元
	包装費	123	2,457 × 0.05
	光熱水料費	120	10,000 元/月 × 12 月
	人件費	230	17+13+10 人 × 10 + 10 人 × 7+10 人 × 6 月 × 0.5
	福利厚生費	60	5,000 元/月 × 12 月
	工場経費	120	消耗品等 10,000 元 × 12 月
	修繕費	84	2,793 千元 × 0.03
	営業経費	60	輸送、通信、宣伝 5,000 元 × 12 月
	施設償却費	163	(1,844 × 0.9 ÷ 20 年) + (889 × 0.9 ÷ 10 年)
	支払利子	70	借入金利子 1,757 × 0.5 × 0.08
	租税公課	159	2,265 千元 × 0.07
	その他	113	2,265 千元 × 0.05
		計	2,262
差引	195		

付属書5.7.5.2 配合飼料加工施設整備計画

1) 配合飼料の需要量見込み

区分	1頭当たり 給与量(kg)	調査地域		その他		県全体	
		頭羽数	必要量	頭羽数	必要量	頭羽数	必要量
草食家畜	24.9	209,050	5,205	223,383	3,954	432,433	9,159
豚	250.0	52,600	13,150	22,875	3,752	75,475	16,902
鶏	26.4	151,600	4,002	142,700	2,897	294,300	6,899
ウサギ	11.7	3,200	37	3,153	28	6,353	65
計			22,394		10,631		33,025

注：草食家畜は綿羊換算頭数である。その他地域の飼養頭羽数は現況頭羽数(1996年)である。

2) 配合割合(標準)

原料名	製品 1t 当り 配合量(kg)	TDN(%kg)		DCP(%kg)		原料価格(元)	
		含有率	含有量	含有率	含有量	単価	金額
トウモロコシ	420	79.6	334	6.9	29	1.100	462
フスマ	300	64.0	192	12.2	37	0.800	240
ダイズ	90	74.6	67	22.8	21	1.200	108
オオムギ	70	73.2	51	8.0	6	1.000	70
油粕	100	68.7	69	26.9	27	0.840	84
魚粉	10	73.0	7	55.9	6	3.600	36
骨粉	7	64.6	5	39.9	3	2.000	14
食塩	3	-	-	-	-	0.600	2
その他	-	-	-	-	-	-	71
計	1,000		725		129		1,087
摘要		72.5%		12.9%		1.09 元 / kg	

3) 原料の必要量と供給計画(生産量 13,000 t/年)

原料名	製品 1t 当 配合(kg)	全体量 (t)	主要原料の生産計画				
			区	調査地域	供給割合	備考	
トウモロコシ	420	5,460	トウモロコシ	作付面積	3,890	100%	
フスマ	300	3,900		生産量	19,605		
ダイズ	90	1,170		好供給量	5,460		
オオムギ	70	910	ダイズ	作付面積	4,000	100%	
油粕	100	1,300		生産量	10,000		
魚粉	10	130		好供給量	1,170		
骨粉	7	91	コムギ (フスマ)	作付面積	2,270	33%	歩留 25% 15,600t 必要
食塩	3	39		生産量	5,108		
計	1,000	13,000		好供給量	5,108		

4) 配合飼料加工施設の整備内容

区分	既存施設	整備計画(追加分)
加工規模	年間 1,500 t 加工 1日当たり 4.5 ~ 5.0t 加工	年間 13,000 t 加工(整備後の規模) 1日当たり 45t 加工(300日稼働)
建物施設	加工場 ブロック造 100 m ² (事務室等は兼用)	加工場 ブロック造 600 m ² 原料保管庫 ブロック造 300 m ² 製品保管庫 ブロック造 180 m ² 事務所 ブロック造 120 m ²
機械器具	飼料粉碎機 1台 飼料攪拌機 1台	飼料粉碎機 3台、飼料攪拌機 3台 配合機 3台、飼料分析器 1台 事務機器 1式、車両 1式

5) 所要事業費

(単位：千元)

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考
建物施設	加工場	ブロック造	600 m ²	700	420	
	原料保管庫	ブロック造	300 m ²	700	210	
	製品保管庫	ブロック造	180 m ²	700	126	
	事務所	ブロック造	120 m ²	500	60	
小計					816	
加工機械	飼料粉碎機		3台	50,000	150	
	飼料攪拌機		3台	50,000	150	
	配合機		3台	60,000	180	
	飼料分析器		1台		30	
小計					510	
機械器具	事務用機器	電子計算機	1台		60	
		コピー機	1式		10	
		FAX	1台		3	
		その他			10	
小計					83	
小計	小計	トラック	2台	45,000	90	3t
	小計				90	
その他	電気施設 用水施設 敷地整備		1式		20	
			1式		20	
小計		0.2ha		30	60	
小計					100	
小計					1,599	

6) 要員計画

管 理 部 門				現 業 部 門			
区分	業務分野	人数	備考	区分	業務分野	人数	備考
常勤	総責任者	1		常勤	責任者	1	
	総務経理	1			原料集荷	1	
	営業	1			飼料加工	3	
	施設機械	1			作業員	10	
	品質管理	1			計	15	
小計		5		季節	作業員	5	9月～12月

7) 経営計画

(単位：千元)

区分	金額	備考	
収入	飼料販売 計	18,200 18,200	13,000t × 1.4元/kg × 1,000
支出	原料購入費	14,170	13,000t × 1.09元/kg
	包装費	364	18,200千元 × 0.02
	人件費	190	17+13+8人 × 10+10人 × 7+5人 × 4月 × 0.5
	福利厚生費	36	3,000元/月 × 12月
	光熱水料費	120	10,000元/月 × 12月
	工場経費	60	消耗品等 5,000元/月 × 12月
	修繕費	54	1,599 × 1.12 × 0.03
	営業経費	60	輸送、通信、宣伝、5,000元/月 × 12月
	施設償却費	102	(816 × 0.9 ÷ 20年) + (723 × 0.9 ÷ 10年)
	支払利子	602	15,054 × 0.5 × 0.08
	租税公課	1,274	18,200千元 × 0.07
その他	910	18,200千元 × 0.05	
計	17,942		
差引	258		

付属書5.7.5.3 アンズ加工施設整備計画

1) アンズの生産と加工計画 (単位: ha, t)

区 分		現 況			計 画			備 考
		調査地域	その他	県全体	調査地域	その他	県全体	
生産	作付面積	2,700	5,427	8,127	5,000	8,100	13,100	
	単位収量	2.6	2.6	2.6	4.2	4.2	4.2	
	生産量	7,020	14,110	21,130	20,820	34,020	54,840	
流通	生食向け	702	1,411	2,113	2,082	3,402	5,484	10%
	加工向け	6,318	12,699	19,017	18,738	30,618	49,356	
	地域外	6,318	12,699	19,017	0	25,356	25,356	
	地域内	0	0	0	18,738	5,262	24,000	
加工 (地域 内)	干しアンズ	0	0	0	5,400	600	6,000	原料
	同製品量	0	0	0	900	100	1,000	製品
	杏仁	0	0	0	270	30	300	原料
	杏仁飲料	0	0	0	2,700	300	3,000	製品

【加工内容】

①干しアンズ

生アンズおよび農家が生産した干しアンズを集荷し、加糖干しアンズと加工向けに規格選別した干しアンズを生産する。

〔加工工程〕

生アンズ → 核抜き → 篩い分け → 洗 浄 → 浸 漬 → 乾 燥 → 加糖汁攪拌
→ 放置吸水 → 包 装 → 検 査 → 出 荷

②杏仁飲料

アンズから杏仁を取り、瓶詰の杏仁飲料を生産する。また杏仁粉を生産、加工用として販売する。

〔加工工程〕

原料杏仁 → 選 別 → 加熱皮剥 → 水 浸 → 仮 煮 → 冷 却 → 調 合 →
均質化 → 冷 却 → 瓶詰め → 殺 菌 → 出 荷 (杏仁飲料)
均質化 → 濃 縮 → スプレー乾燥 → 包 装 → 出 荷 (杏仁粉)

2) アンズ加工施設の整備内容

区 分	整 備 内 容	備 考
建物施設	加工場 RC造 1,000 m ² 集出荷場 鉄骨造 500 m ² 冷蔵庫 RC造 400 m ² (容量 300t) 事務所 ブロック造 300 m ² 厚生棟 RC造 500 m ² 貯水槽 RC造 200 m ² (500t) 汚水処理施設 RC造 200 m ² 車庫資材庫 ブロック造 200 m ² その他 廃棄物場 100 m ² 、小売店舗 200 m ²	2F 建
機械器具	加工用機械 1 式 事務用機器 1 式 車両 1 式	

3) 所要事業費 (単位：千元)

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考
建物施設	加工場	RC造 2F	1,000 m ²	1,100	1,100	
	集出荷場	鉄骨造	500 m ²	400	200	
	冷蔵庫	RC造	400 m ²	4,000	1,600	
	事務所	ブロック造	300 m ²	500	150	
	厚生棟	ブロック造	500 m ²	1,000	500	
	貯水槽	RC造	200 m ²	1,100	220	
	汚水処理施設	RC造	200 m ²	5,000	1,000	
	車庫資材庫	ブロック造	200 m ²	700	140	
	小売店舗	ブロック造	200 m ²	700	140	
	廃棄物置場	RC造	100 m ²	400	40	
小計					5,090	
機械器具	加工機械		1 式		3,650	
	事務用機器	電子計算機	1 式		60	
		コピー機	1 式		10	
		電話	3 台		9	
		FAX	1 台		3	
		その他	1 式		20	
	車両	ジーブ	2 台	250	500	
	3tトラック	2 台	45	90		
小計					4,342	
その他	電気施設		1 式		150	
	用水施設		1 式		150	
小計	敷地整備		0.7ha	30	210	
小計					510	
小計					9,942	

4) 要員計画

区分	業務分野	人数	備考	区分	業務分野	人数	備考
常勤	総務	1		季節	果肉加工	48	作業員2班
	責任者	2			飲料加工	50	"
	総務	2			小計	98	
	財務	8	販売計画、設備			118	
	営業	3	試験、検査				
	生産	3					
工場	1						
小計	20						

5) 経営計画(全体)

(単位：千元)

区分	金額	備考	
収入	アンス販売	13,000	1,000t × 13,000 元/t
	飲料販売	24,000	3,000t × 8,000 元/t
	計	37,000	
支出	主原料購入費	12,600	生アンス 6,000t × 1.5 元/kg + 杏仁 300t × 12 元/kg
	添加原料	2,000	4,000t × 500 元/t
	光熱水費	600	50,000 元 × 12 月
	包装費	10,900	干アンス 13,000 元 × 0.1 + 飲料 24,000 元 × 0.4
	人件費	513	17+13+18 人 × 10 + (48 人 × 3 月 + 50 人 × 9 月) × 0.51
	厚生費	60	5,000 元 × 12 月
	工場経費	240	20,000 元 × 12 月
	企業管理費	360	30,000 元 × 12 月
	販売経費	600	宣伝費ほか 50,000 元 × 12 月
	修繕費	497	9,942 × 0.05
	減価償却費	647	(5,090 × 0.9 ÷ 20 年) + (4,642 × 0.9 ÷ 10 年)
	支払利息	1,135	28,370 × 0.5 × 0.08
	租税公課	2,590	37,000 × 0.07
	その他	1,850	37,000 × 0.05
	計	34,592	
差引	2,408		

付属書5.7.5.4 食肉処理加工施設整備計画

1) 食肉の生産計画

(単位：t)

生産物	現 状			計 画			備 考
	調査地域	その他	県全体	調査地域	その他	県全体	
家畜肉	1,857.3	3,084.8	4,942.1	7,314	3,085	10,399	
家禽肉	35.5	83.3	118.8	109	83	192	
食肉計	1,892.8	3,168.1	5,060.9	7,423	3,168	10,591	

2) 食肉の消費量

(単位：人、kg、t)

畜産物	区 分	現 状			計 画		
		調査地域	その他	県全体	調査地域	その他	県全体
人 口	総人口	75,370	75,950	151,320	75,370	75,950	151,320
家畜肉	単位消費量	7.04	7.04		16.60	16.60	
	消費量	530.6	534.7	1,065.3	1,251	1,261	2,512
	好牛肉	-	-	-	91	91	182
	羊肉	-	-	-	166	167	333
	豚肉	-	-	-	995	1,002	1,997
	生産量	1,857.3	3,084.8	4,942.1	7,314	3,085	10,399
	移出量	1,326.7	2,550.1	3,876.8	6,063	1,824	7,887
家禽肉	単位消費量	0.21	0.21		2.35	2.35	
	消費量	15.8	15.9	31.7	177	178	355
	生産量	35.5	83.3	118.8	109	83	192
	移出量	19.7	67.4	87.1	- 68	- 95	- 163

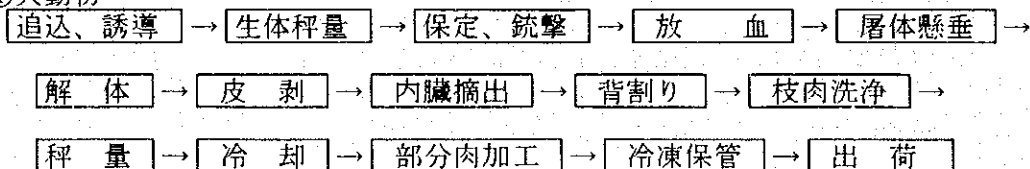
3) 食肉の処理加工計画(家畜肉)

区 分	生産流通計画(県内)			処理加工計画(地域内)		備 考	
	全生産量	県内処理	生体出荷	地域内出荷	要屠殺処理		
処理頭数	牛 肉	818	410 (50%)	408 (50%)	2,579	2,000 (78%)	大動物
	緬山羊肉	1,362	750 (55%)	612 (45%)	51,087	40,000 (78%)	小動物
	豚 肉	8,219	1,440 (18%)	6,779 (82%)	120,433	30,000 (25%)	小動物
	計	10,399	2,600 (25%)	7,799 (75%)	174,099	72,000 (41%)	
施設規模	大動物	2,000頭(+ロバ等) ÷ 300日/年 ≒ 10頭/日 (2.0 t)					
	小動物	①緬山羊ライン 40,000頭 ÷ 150日/年 ≒ 270頭/日 (5.0 t)					
		②豚ライン 30,000頭 ÷ 300日/年 ≒ 100頭/日 (4.8 t)					
	冷凍庫	貯蔵容量 12 t/日 × 30日 = 360 t					

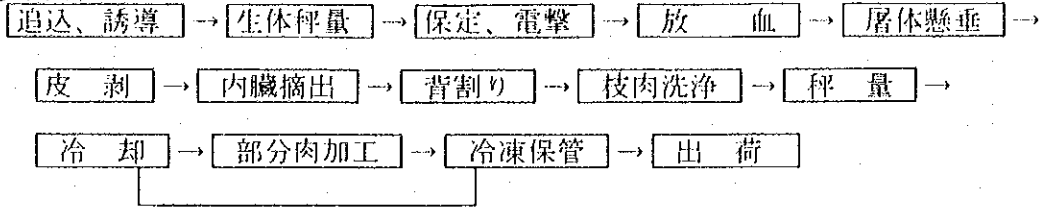
注：生産流通計画の単位はt、処理加工計画は頭である。1頭当たり枝肉量は牛が375kg × 0.55、緬山羊37.5kg × 0.5、豚80kg × 0.6。

【食肉処理加工工程】

①大動物



②小動物



4) 食肉処理加工施設の整備内容

区 分	整 備 計 画	備 考
建物施設	加工場 RC造 1,200 m ² 繋留所 鉄骨造 300 m ² 病畜処理棟 ブロック造 100 m ² 事務所 ブロック造 900 m ² 厚生棟 ブロック造 300 m ² 車庫資材庫 ブロック造 200 m ² その他 貯水槽 50 m ³ 、ホイル室 100 m ² 冷凍冷蔵庫 RC造 450 m ² (容量 360t) 汚水処理施設 RC造 200 m ² (ラゲーン方式)	
機械施設	屠殺ライン3列、処理加工機械、血液処理機械、 病畜処理機械、焼却炉 事務用機械、車両	

5) 所要事業費

(単位：千元)

区 分	施 設 名	構造規格	数 量	単価(元)	事業費	備 考
建物施設	加工場	RC造	1,200 m ²	1,100	1,320	
	繋留所	鉄骨造	300 m ²	400	120	
	病畜処理棟	ブロック造	300 m ²	700	210	
	事務所	ブロック造	900 m ²	900	810	
	厚生棟	ブロック造	300 m ²	900	270	
	車庫資材庫	ブロック造	200 m ²	500	100	
	貯水槽	RC造	100 m ³	1,100	110	
	ホイル室	ブロック造	100 m ²	700	70	
	冷凍冷蔵庫	RC造	450	4,000	1,800	
	汚水処理施設	RC造	200 m ²	5,000	1,000	
小計					5,810	
加工機械	屠殺機械ほか		1 式		1,800	
小計					1,800	
機械器具	事務用機器	電子計算機	2 式	60,000	120	
		コピー機	1 台		10	
		電話	3 台	3,000	9	
		FAX	1 台		3	
		構内放送	1 式		15	
		その他	1 式		20	
	車両	ジープ	1 台		250	
		保冷車	2 台	400,000	800	
小計					1,227	
その他	電気施設		1 式		300	
	用水施設		1 式		480	
	敷地整備		1.4ha	30	420	
	外構施設		1 式		200	
小計					1,400	
小計					10,237	

6) 要員計画

管 理 部 門				現 業 部 門			
区分	業務分野	人数	備 考	区分	業務分野	人数	備 考
常勤	総責任者	1	獣医師	常勤	責任者	1	
	総務	2			解体処理	3	
	経理	2			冷凍冷蔵	3	
	営業	2			作業員	30	
	衛生管理	2			計	37	
	施設機械	2		季節	作業員	20	9月～1月
電気用水	2						
	計	13					

7) 経営計画

(単位：千元)

区 分	金 額	備 考
収 入		
解体処理料	2,300	$(2,000 \text{ 頭} \times 75 \text{ 元}) + (40,000 \times 20) + (30,000 \times 45)$
冷蔵保管料	383	$1,914 \times 0.3$
計	2,683	
支 出		
人件費	471	$18 + 13 + (18 \text{ 人} \times 10) + (30 \text{ 人} \times 7) + (20 \times 5 \times 0.5)$
光熱水料費	240	$20 \text{ 千元/月} \times 12 \text{ 月}$
修繕費	307	$10,237 \text{ 千元} \times 0.03$
工場経費	180	消耗品等 $15 \text{ 千元/月} \times 12 \text{ 月}$
営業経費	240	$20 \text{ 千元/月} \times 12 \text{ 月}$
福利厚生費	60	$5 \text{ 千元/月} \times 12 \text{ 月}$
施設償却費	604	$(5,810 \times 0.9 \div 20) + (3,807 \times 0.9 \div 10)$
支払利子	60	借入金利子 $1,498 \times 0.5 \times 0.08$
租税公課	94	$2,683 \text{ 千元} \times 0.07 \times 0.5$
その他	134	$2,683 \text{ 千元} \times 0.05$
計	2,390	
差 引	293	

付属書5.7.5.5 カシミア加工施設整備計画

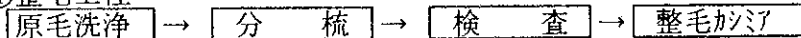
1) カシミアの生産加工計画

(単位：t)

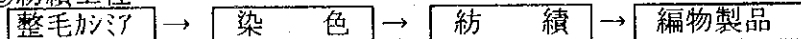
区分	現在 (1996年)			計画 (2015年)			備考
	調査地域	その他	県全体	調査地域	その他	県全体	
生産量	15.5	40.6	56.1	25.0	40.6	65.6	
県外加工 (割合)	12.7	33.4	46.1	0	20.6	20.6	
県内加工 (割合)	2.8	7.2	10.0	25.0	20.0	45.0	
# 整毛量	1.1	2.9	4.0	10.0	8.0	18.0	
施設規模	原毛 30 t/年処理 整毛 12 tの生産			原毛 45 t/年処理 整毛 18 tの生産			

【カシミア加工工程】

① 整毛工程



② 紡績工程



2) カシミア加工施設整備内容

区分	既存施設	整備計画(追加分)	備考
建物施設	加工場 360 m ² (9室) 原料・製品置場 150 m ² (5室) 事務所 50 m ²	加工場 RC造1棟 1,000 m ² (製品保管庫を含む) 事務所 ブロック造1棟 300 m ²	
機械器具	分梳機 4台 開毛機 1台 車両 1台	分梳機 10台 開毛機 1台 紡績機 40台 紡糸機 1台 車両 3台	
敷地面積	1,200 m ²	2,000 m ²	

3) 所要事業費

(単位：千元)

区分	施設名	構造規格	数量	単価(元)	事業費	備考
建物施設	加工場	RC造2F	1,000 m ²	1,100	1,100	
	事務所	ブロック造	300 m ²	500	150	
小計					1,250	
加工機械	加工機械	分梳機	10台	50,000	500	
		開毛機	1台		30	
		紡績機	40台	20,000	800	
		紡糸機	1台		170	
		小計				1,500
機械器具	事務用機器	電子計算機	1台		60	
		コピー機	1式		10	
		FAX	1台		3	
		その他			20	
		小計				93
車両	ジープ		1台		250	
		トラック	2台	30,000	60	1.5t
小計					310	
その他	電気施設		1式		800	
敷地整備			0.2ha	30	60	
小計					860	
小計					4,013	

4) 要員計画

管 理 部 門				現 業 部 門			
区分	業務分野	人 数	備 考	区分	業務分野	人 数	備 考
常勤	総責任者	1		常勤	責任者	1	
	総務経理	1			原毛集荷	1	
	営業	1			整毛処理	3	
	施設機械	1			作業員	5	
	電気設備	1			計	10	
	品質管理	4		季節	作業員	70	3月～10月
	計	9					

5) 経営計画

(単位：千元)

区 分		金 額	備 考
収 入	整毛販売	7,500	10,000kg × 750 元/kg
	製品販売	6,720	8,000kg × 3 枚/kg × 280 元
	計	14,220	
支 出	原毛購入費	6,750	45,000kg × 150 元/kg
	包装費	711	14,220 千元 × 0.05
	アドバイザー指導費	672	6,720 千元 × 0.1
	人件費	486	17+13+(17 人 × 10)+(70 人 × 8 月 × 0.51)
	福利厚生費	60	5,000 元 × 12 月
	光熱水料費	240	20,000 元 × 12 月
	工場経費	120	消耗品等 10,000 元 × 12 月
	修繕費	301	4,013 千元 × 1.5 × 0.05
	営業経費	360	輸送、通信、宣伝 30,000 元 × 12 月
	施設償却費	300	(1,250 × 0.9 ÷ 20)+(2,703 × 0.9 ÷ 10)
	支払利子	388	9,700 × 0.5 × 0.08
	租税公課	995	14,220 × 0.07
	その他	711	14,220 × 0.05
	計	12,094	
差 引		2,126	

6) 流通加工施設経営計画の単価表

区 分	項 目	規 格	単 位	金 額	備 考		
青果物卸売 市場	収入	取扱手数料		%	5	売買成立額×0.05	
		事務所賃料	1室	月	500		
	支出	光熱水料費	電気代ほか	"	5,000		
		陳列棚等経費		"	8,000		
		貸事務所経費		"	15,000		
営業経費	通信費ほか	"	5,000				
家畜市場	収入	取扱手数料		%	4.5	売買成立額×0.045	
	支出	敷料購入費		月	500		
		光熱水料費	電気代ほか	"	500		
		営業経費	通信費ほか	"	3,000		
果実選果施 設	収入	取扱手数料		%	10		販売額×0.10
	支出	包装費	段ボール	"	2	販売額×0.02	
		光熱水料費	電気代ほか	月	2,000		
		営業経費	通信費ほか	"	3,000		
食肉加工	収入	解体処理費	牛、ロバ、ラバ	頭	75		解体処理費の30%
			緬山羊	"	20		
			豚	"	45		
		冷蔵保管料		%	30		
	支出	光熱水料費	電気代ほか	月	20,000		
		工場経費	消耗品ほか	"	15,000		
営業経費		通信費ほか	"	20,000			
かみ加工	収入	整毛販売	整毛	kg	750	75 万元 / t	
		製品販売	セーター	枚	280	840 元 / kg	
	支出	原毛購入費	カシミア	kg	150	15 万元 / t	
		包装費		%	5	整毛・製品販売額の5%	
		デザイン指導費	セーター	"	10	製品販売額の10%	
		光熱水料費	電気代ほか	月	20,000		
		工場経費	消耗品ほか	"	10,000		
		営業経費	通信費ほか	"	30,000		
配合飼料加 工	収入	飼料販売	配合飼料	kg	1.40	標準タイプ 1,400 元/t	
	支出	原料購入費	トウモロコシ	kg	1.10	販売金額×0.02	
			フスマ	"	0.80		
			ダイズ	"	1.20		
			オオムギ	"	1.00		
			油粕	"	0.84		
			魚粉	"	3.60		
			骨粉	"	2.00		
			食塩	"	0.60		
			包装費	麻袋	%		2
			光熱水料費	電気代ほか	月		10,000
		工場経費	消耗品ほか	"	5,000		
		営業経費	通信費ほか	"	5,000		

区 分	項 目	規 格	単 位	金 額	備 考	
アンズ加工	収入	製品販売	干しアンズ	kg	13	13,000 元/t
			杏仁飲料	"	8	8,000 元/t
	支出	主原料購入費	生アンズ	kg	1.5	1,500 元/t
			杏仁	"	12	12,000 元/t
		添加原料 "	"	0.5	500 元/t	
		光熱水料費	電気代ほか	月	50,000	
		包装費	干しアンズ	%	10	販売金額 × 0.10
			杏仁飲料	"	40	販売金額 × 0.40
		工場経費	消耗品ほか	月	20,000	
		企業管理費	宣伝費ほか	"	30,000	
販売経費	輸送費ほか	"	50,000			
澱粉加工	収入	製品販売	澱粉	kg	4	4,000 元/t
			春雨	"	6	6,000 元/t
			澱粉粕	t	30	
	支出	原料購入費	バレイショ	kg	0.4	400 元/t
			澱粉、春雨	%	5	販売金額 × 0.05
		光熱水料費	電気代ほか	月	10,000	
		工場経費	消耗品ほか	"	10,000	
営業経費	通信費ほか	"	5,000			
共通	支出	人件費	総責任者	年	17,280	1,200 元 × 12 月 × 1.2
			責任者	"	12,960	900 × 12 × 1.2
			事務員、技術員	"	10,080	700 × 12 × 1.2
			作業員	"	7,200	500 × 12 × 1.2
			季節作業員	月	510	17 元 × 30 日
		福利厚生費	従業員 30 人～	"	5,000	
			従業員 10 ～ 30	"	3,000	
			従業員 10 未満	"	1,000	
		修繕費	建物 + 機械設備	%	2 ～ 5	年率
		支払利子		"	8	販売額 × 7% (流通は 1/2)
		租税公課	販売税	"	7	販売額 × 5%
			公益積立金	"	5	残存価格率 90%
		施設償却費	耐用年数(建物)	年	20	"
(機械)	"			10		

付表 5.8.2.2 各作物別消費水量 (その1)

コムギ

地区	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
安塞	2.27	1.81	0.77	0.22	0.36	0.46	1.18	2.59	4.13	5.18
日消費量(mm/日)	45.4	56.1	23.1	6.8	11.2	12.9	36.6	77.7	128.0	155.4
月消費量(mm)	注：収穫時には灌漑しない									

播種 9月 11日 ~ 9月 30日
 生育 10月 1日 ~ 6月 30日
 収穫 7月 1日 ~ 7月 10日

トウモロコシ (棚畑)

地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
陕北	2.1	2.35	2.96	5.69	5.14	2.34	1960~1965年データ解析結果
日消費量(mm/日)	63.0	72.9	88.8	176.4	159.3	46.8	
月消費量(mm)	注：収穫時には灌漑しない						

播種 4月 1日 ~ 4月 10日
 生育 4月 11日 ~ 9月 20日
 収穫 9月 21日 ~ 9月 30日

トウモロコシ (川地)

地区	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
陕北	2.1	2.1	2.35	2.96	5.69	5.14	2.34	1960~1965年データ解析結果
日消費量(mm/日)	10.5	63.0	72.9	88.8	176.4	159.3	70.2	
月消費量(mm)	注：収穫時には灌漑しない							

播種 3月 26日 ~ 4月 15日
 生育 4月 16日 ~ 9月 30日
 収穫 10月 1日 ~ 10月 10日

雑穀 (アワ)

地区	播種	節間 伸長	節間 伸長	節間 伸長	出穂	出穂	収穫	
陕北	3月26日	6月30日	7月1日	8月20日	8月21日	10月10日		
日数(日)	60	75	40	55	50	65		
消費量(mm)	110.3	150.3	153.3	186.2	177.5	237.75		
日消費量(mm/日)	1.84	2.00	3.83	3.38	3.55	3.66		
採用値(mm/日)	1.92		3.61			3.60		
月消費量(mm)	3月 9.6	4月 57.6	5月 59.5	6月 57.6	7月 111.9	8月 111.8	9月 108.1	10月 36.0

播種 3月 26日 ~ 4月 15日
 生育 4月 16日 ~ 9月 30日
 収穫 10月 1日 ~ 10月 10日

付表 5.8.2.3 各作物別消費水量 (その2)

豆類 (ダイズ)

地区	播種 ~ 開花	開花 ~ 收穫
安塞	3月26日 ~ 7月30日	7月31日 ~ 10月10日
期別消費量(mm)	230	200
日消費量(mm/日)	2.84	3.92
月消費量 (mm)	3月 14.2	4月 85.2
	5月 88.0	6月 85.2
	7月 89.1	8月 121.5
	9月 117.6	10月 39.2

播種 3月 26日 ~ 4月 15日
 生育 4月 16日 ~ 9月 30日
 收穫 10月 1日 ~ 10月 10日

秋バレイシヨ

地区	播種 ~ 生長 伸長	生長 伸長	開花	開花 ~ 收穫
陕北	5月6日 30 ~ 6月20日 40	6月21日 20 ~ 7月10日 25	7月11日 50 ~ 9月30日 60	
日数(日)	86.7	46.17	210.2	311.1
消費量(mm)	2.89	3.78	4.20	5.19
日消費量(mm/日)	3.33	2.14		
採用値 (mm/日)	5月 83.3	6月 88.1	7月 120.0	8月 145.5
月消費量 (mm)	9月 140.8			

植付 5月 6日 ~ 5月 15日
 生育 5月 16日 ~ 9月 16日
 收穫 9月 17日 ~ 9月 30日

夏バレイシヨ

地区	播種 ~ 生長 伸長	生長 伸長	開花	開花 ~ 收穫
陕北	3月26日 ~ 5月10日	5月11日 ~ 5月31日	6月1日 ~ 7月10日	
日数(日)	~	~	~	~
消費量(mm)	~	~	~	~
日消費量(mm/日)	~	~	~	~
採用値 (mm/日)	2.89	1.98		4.20
月消費量 (mm)	3月 14.5	4月 86.7	5月 70.5	6月 126.0
	7月 42.0			

植付 3月 26日 ~ 4月 15日
 生育 4月 16日 ~ 6月 25日
 收穫 6月 26日 ~ 7月 10日

注：日消費量等は秋バレイシヨから類推した。

付表 5.8.2.4 各作物別消費水量 (その3)

油量類その他 (ヒマワリ)

地区	播種 ~	節間 伸長	節間 伸長	開花 ~	開花 ~	收穫
安塞	5月11日	6月20日	6月21日	7月5日	7月6日	9月20日
	150		200		100	
	3.66		12.50		1.52	
月消費量 (mm)	5月	6月	7月	8月	9月	
	36.6	198.2	102.0	47.1	30.4	

播種 5月 11日 ~ 5月 20日
生育 5月 21日 ~ 9月 10日
収穫 9月 11日 ~ 9月 20日

露地野菜 (スイカ)

地区	播種 ~	伸長 開花	結球 ~	收穫		
安塞	3月11日	6月1日	6月2日	8月25日		
	150		350			
	2.88		7.14			
月消費量 (mm)	3月	4月	5月	6月	7月	8月
	60.5	86.4	89.3	209.9	221.3	178.5

播種 3月 11日 ~ 3月 20日
生育 3月 21日 ~ 7月 25日
収穫 7月 26日 ~ 8月 25日

温室野菜 (キュウリ)

地区	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
安塞	1.6	2.9	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
	16.0	89.5	105.0	108.5	108.5	98.0	108.5	105.0	108.5	108.5
	3.5	7.14	221.3	178.5						

定植 9月 21日 ~ 10月 10日
生育 10月 11日 ~ 11月 30日
収穫 12月 1日 ~ 6月 10日

注: 日本の温室栽培における日消費量を参考にした。

アングズ類

地区	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
安塞	35	37.5	50	70	75	65	35	30
	1.13	1.25	1.61	2.33	2.42	2.10	1.17	1.00
	2.00	3.17	3.39	3.39	3.17	1.33		

リンゴ類

地区	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
安塞	40	60	80	90	100	105	95	40
	1.29	2.00	2.58	3.00	3.23	3.39	3.17	1.33
	3.17	3.39	3.39	3.17	1.33			

付属書 5.8.2.1 総容易有効水分量 (TRAM) の決定

1) 有効土層および土壌水分割合の決定

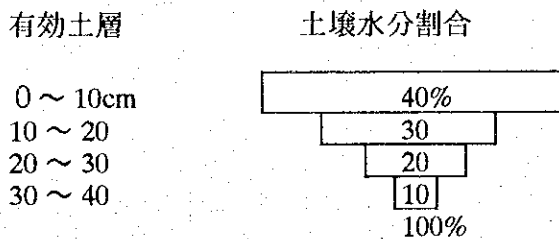
(1) 有効土層

土壌面蒸発、作物根の水分吸収、毛管補給などによりほぼ間断日数と同程度の連続干天日数において、圃場容水量からの水分減少の認められる土層の深さをいい、一般作物では近似値として 40cm を採用している。

(2) 土壌水分割合

有効土層における水分減少量は一様でなく、普通は表層から下層になるに従って減少量は小さくなる。一般的に有効土層を 4 等分し、上層から 40、30、20、10% の割合としている。

以上を図で示せば以下のようになる。

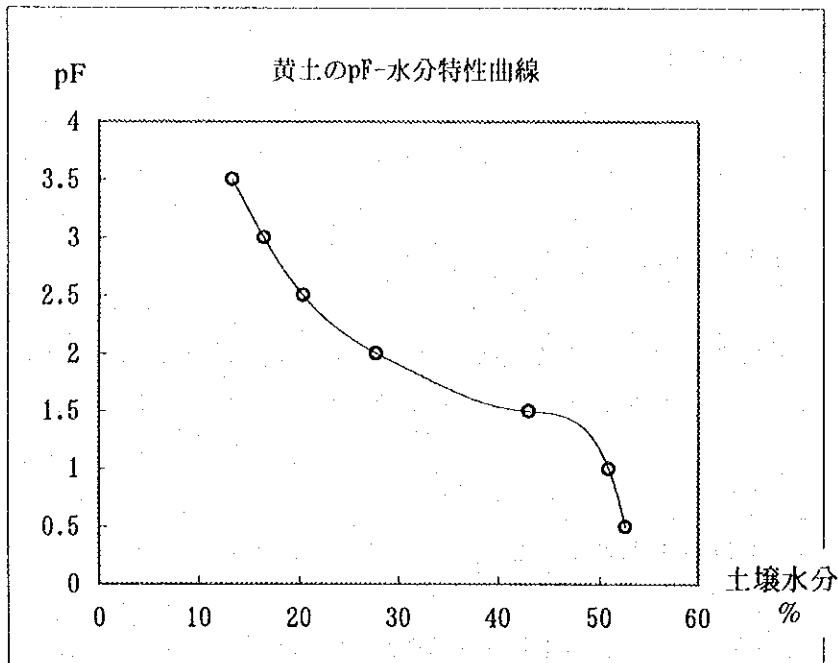


2) 生長有効水分量

圃場容水量から生長阻害水分点までの土壌水分量で、作物に容易に利用され、正常生育を保証する水分量である。土壌の組成により若干の差異はあるものの、圃場容水量と生長阻害水分量を pF で示せばそれぞれ 1.5 および 3.0 となっている。黄土の pF ~ 土壌含水比曲線が報告されており、この曲線から生長有効水分量を計算すると、土層 10cm に対して 26.5mm となる。

3) 総容易有効水分量 (TRAM) の決定

作物の生育は根群域内のどこかの部分で生長有効水分が消費尽くされると正常な生育が阻害される。従って他の層に有効水分が残っていてもこの時期に灌水を行う必要がある。この考えから、根群域のある層 (制限土層) の有効水分が不足するに至る寸前までに根群域全体から消費される総水量を算定し、これを総容易有効水分量といい、1 回あたりの灌漑水量とする。



総容易有効水分量の決定

層位 ①	層別深さ (cm) ②	生長有効 水分量 (mm) ③	土壌水分 割合 (%) ④	全水分 消費量 (mm) ⑤=③/④	制限土層 ⑥	TRAM (mm) ⑦	TRAM 中の 各層の消費 水量(mm) ⑧=⑦×④
1	0 ~ 10	26.5	40	66.3	○	66.3	26.5
2	10 ~ 20	26.5	30	88.3			19.9
3	20 ~ 30	26.5	20	132.5			13.3
4	30 ~ 40	26.5	10	265.0			6.6
計							66.3

上表で分かるように、制限土層は第1層 (0 ~ 10cm) であり、66.3mm が TRAM 値となる。

4) 間断日数

TRAM 値 66.3mm から、各作物における灌漑間断日数を求める。

灌漑間断日数

	最大日消費量(mm) ①	間断日数(日) ②=66.3/①
トウモロコシ	5.69	11
夏バレイショ	4.2	15
露地野菜	7.14	9
温室野菜	3.5	18
リンゴ	3.39	19

付属書 5.8.2.2 棚畑における灌漑システムの検討

調査地域で今後建設される棚畑においては、どのような灌漑システムが考えられるか検討する。1つの例として、他地域で開発されている水窯システムが本調査地区でも有効に機能するかどうかを検証する。

1、条件

1 農家人口は平均4.7人。

年間消費穀物量は平均で217kg/人/年であり、損耗を考慮して225kg/人/年が最低限必要となる。従って1農家では1,058kg/年が必要となる。

単位収穫量

トウモロコシ	4.5t/ha	→	300kg/ha
雑穀 (アワ)	3t/ha	→	200kg/ha
この2種類の平均をとり			250kg/haとする。

1農家の家族を養うためには $1,058/250=4.2(\text{ha})$ を必要とする。

作物の水消費水量は基準消費量の8割とする。(水資源の厳しい一時期において、最低限必要とする水量)

灌漑計画策定上の基準年を1994年とする。

灌漑効率はジョロなどで植物の根元に灌水する方法とし、0.9を採用する。

また、きめ細かな灌水作業を行うこととして、灌漑面積湿潤率を2/3 (67%)とする。

2、灌漑水量の算定

1994年の降水量パターンから必要灌漑水量を計画する。

7月24日～8月2日までの10日間の水消費量が最も多くなる。

トウモロコシとアワの7月の平均日消費水量=4.65mm/day

$$Q=10*0.8*(4.65\text{mm}*10\text{日})/0.9*0.67=276\text{m}^3/\text{ha}$$

ha当たりにすると18.5m³となる。

1家族を養うために必要な面積4.2haに灌水するとすれば77.7m³が必要となる。

従って、約80m³の貯水槽を建設しなければならない。

3、必要な集水面積

77.7m³を集水するために必要となる面積を求める。

7月23日に9.9mmの降水がある。この降水を集めて77.7m³を得るためには、

$$A=77.7/(9.9*0.55)/10=1.4\text{ha} \quad 0.55\text{は集水係数}$$

4、考察

このように、農民一人一人に必要な最低限の食糧を確保するだけのためには、上記灌漑システムで何とか可能となる。しかし、地域全域(棚畑全部)には不可能である。

このシステムは県政府なり中国政府の政策(農民生存政策)であり、本開発計画の灌漑システムとはなり得ない。

付表 5.8.4.1 農業農村基盤整備事業費詳細

1) 農地整備事業費

区分	数量	単価(元)	事業費(千元)	備考
棚畑造成	8,660ha	12,829	111,099	
果樹用棚畑造成	2,300ha	7,175	16,503	
ダムランド新設	1式		14,400	36ダム
ダム洪水吐改修	1式		20,400	217ダム
川地圃場整備	850ha	3,869	3,289	
自然草地改良	32,000ha	585	18,720	
永年人工草地造成	9,000ha	1,635	14,715	
合計			199,126	

2) 灌漑施設整備事業費

区分	数量	事業費(千元)	備考
真武渠改修	1式	10,519	
杏子渠改修	1式	4,928	
王窯渠改修	1式	8,911	
川地灌漑施設	1式	8,720	ポンプ、井戸、水路 etc.
湧水利用灌漑施設	1式	282	
3次水路	1式	3,321	
計		36,681	

3) 農道整備事業費

区分	数量	単価(元)	事業費(千元)	備考
農道整備	1,096km	3,961	4,341	
環境保全林	1,096km	1,278	1,401	
合計			5,742	

4) 水道施設整備事業費

区分	数量	単価(元)	事業費(千元)	備考
自然流下方式	136カ所	7,388	1,005	
ポンプ揚水方式	109カ所	7,388	805	
井戸掘削	27カ所	10,000	270	
計			2,080	

5) 生活道路整備事業費

区分	数量	単価(元)	事業費(千元)	備考
幹線道路				
砂利舗装	197km	14,000	2,758	
橋梁建設	138カ所	100,000	13,800	
潜り橋建設	138カ所	63,000	8,694	
ヒューム管敷設	184カ所	785	144	φ 700
支線道路	514km		4,178	
計			29,574	

6) 通信施設整備事業費

区 分	数 量	単価(元)	事業費(千元)	備考
コンクリート電柱	11,640本	280	3,259	
ケーブル	582km	14,400	8,381	
付 属 品	582km	500	291	
工 事 費	582km	2,000	1,164	
合計			13,095	

付表 5.9.2.1

造林樹種選定の目安

地形および斜面方向			土壌水分	樹種名
石礫地			低水分	カラガナ
リヤン・マオ	頂部			カラガナ
	斜面	日向		ニセアカシア、カラガナ
		日陰		並水分
ゴウホ（凹地） （溝道）	斜面	日向	低水分	ニセアカシア
		日陰	中水分	ホブラ類、アブラマツ、サシ
				ニセアカシア、ホブラ類、ヤキギ類、サシ
河岸段丘			高水分	ホブラ類、ヤキギ類、サシ

注：本計画で植栽を予定している樹種のみを掲載した

付表 5.9.2.2 補植、改植面積、本数一覧表

改植	ニセカシ	アブラマツ	ホヅラ類	ヤギ類	灌木	計
防護林 (ha)	1,229	513	820	102		2,664
本数	5,161,800	2,154,600	1,722,000	61,200		9,099,600
用材林 (ha)	820	683	546			2,049
本数	3,444,000	2,868,600	1,146,600			7,459,200
薪炭林 (ha)	137			91		228
本数	575,400			54,600		630,000
環境保全林 (ha)			228			228
本数			478,800			478,800
面積 (計)	2,186	1,196	1,594	193	0	5,169
本数 (計)	9,181,200	5,023,200	3,347,400	115,800	0	17,667,600

補植	ニセカシ	アブラマツ	ホヅラ類	ヤギ類	灌木	計
防護林 (ha)	820	513	820	102		2,255
本数	3,444,000	2,154,600	1,722,000	61,200		7,381,800
用材林 (ha)	546	683	546			1,775
本数	2,293,200	2,868,600	1,146,600			6,308,400
薪炭林 (ha)	91			91		182
本数	382,200			54,600		436,800
環境保全林 (ha)			228			228
本数			478,800			478,800
面積 (計)	1,457	1,196	1,594	194	0	4,441
本数 (計)	6,119,400	5,023,200	3,347,400	116,400	0	14,606,400

改植・補植合計	ニセカシ	アブラマツ	ホヅラ類	ヤギ類	灌木	計
防護林 (ha)	2,049	1,026	1,640	204		4,919
本数	8,605,800	4,309,200	3,444,000	122,400		16,481,400
用材林 (ha)	1,366	1,366	1,092	0		3,824
本数	5,737,200	5,737,200	2,293,200	0		13,767,600
薪炭林 (ha)	228			182		410
本数	957,600			109,200		1,066,800
環境保全林 (ha)			456			456
本数			957,600			957,600
面積 (計)	3,643	2,392	3,188	386	0	9,610
本数 (計)	15,300,600	10,046,400	6,694,800	232,200	0	32,274,000

付表 5.9.6.1

森林造成事業費積算内訳

公有防護林率	71%
個人防護林率	29%

森林造成面積	22,766	ha
労賃(元)	9.6	元/日・人

植栽本数/ha	4,200	4,200	2,100	600	5,800	
樹種名	ニセアカシア	アブラマツ	ホヅラ類	ヤナギ類	灌木	
改植率(%)	30%	50%	20%	10%	0%	
補植率(%)	20%	50%	20%	10%	0%	
造成単価/ha	5,033	7,221	5,758	754	2,322	
樹種名	ニセアカシア	アブラマツ	ホヅラ類	ヤナギ類	灌木	計
	<i>Robinia pseudoacacia</i>	<i>Pinus tabulaeformis</i>	<i>Populus spp.</i>	<i>Salix spp.</i>	<i>Hippophae rhamnoides</i>	<i>Caragana korshinskii</i>
防護林(ha)	4,098	1,025	4,098	1,024	0	10,245
本数	17,211,600	4,305,000	8,605,800	614,400		30,736,800
公有防護林 71%	2,910	728	2,910	727	0	7,275
事業費(元)	14,646,030	5,256,888	16,755,780	547,867		37,206,565
個人防護林 29%	1,188	297	1,188	297	0	2,970
本数	4,989,600	1,247,400	2,494,800	178,200		8,910,000
用材林(ha)	2,732	1,366	2,732	0	0	6,830
本数	11,474,400	5,737,200	5,737,200			22,948,800
薪炭林(ha)	455	0	0	911	3,187	4,553
本数	1,911,000			546,600	18,484,600	20,942,200
環境保全林(ha)	0	0	1,138	0	0	1,138
本数			2,389,800			2,389,800
面積	4,375	1,663	5,058	1,208	3,187	15,491
本数(計)	18,375,000	6,984,600	10,621,800	724,800	18,484,600	55,190,800
魚鱗坑造成功程	40個/人・日	40個/人・日	40個/人・日	40個/人・日	80個/人・日	
必要労働力(人)	459,375	174,615	265,545	18,120	231,058	1,148,713
公有防護林面積	2,910	728	2,910	727		7,275
合計面積(ha)	7,285	2,391	7,968	1,935	3,187	22,766
森林造成	14,646,030	5,256,888	16,755,780	547,867		37,206,565
事業費(元)	4,410,000	1,676,304	2,549,232	173,952	2,218,152	11,027,640
小計						48,234,205
						48,234
						元
						千元

備考

魚鱗坑造成、植付～保育
まで事業費計上

魚鱗坑造成費のみ事業費
計上

魚鱗坑造成費のみ事業費
計上

魚鱗坑造成費のみ事業費
計上

魚鱗坑造成費のみ事業費
計上

公有防護林除く

公有防護林除く

公有防護林

上記以外

林業工作ステーション整備積算内訳

区分	内容	数量	単価(元)	事業費(千元)
建物	森林管理所	44m2	1,200	52
双眼鏡		12	1,200	14
顕微鏡		2	6,300	13
無線機		12	3,000	36
車両	森林ハイパー車(4WD)	1	250,000	250
〃	オートバイ(100cc)	30	5,100	153
その他		6	7,000	42
計				560

小計
合計

560	千元
48,794	千元

公有防護林造成基礎単価表(ha当たり)

注) (改植以降の下刈作業見込まず)

樹種名	ha当たり	苗木単価 元/本	魚鱗坑功程 本/人・日	掘付功程 本/人・日	労賃単価 元/人・日	補植率 %	補植功程 本/人・日	改植率 %	改植功程 本/人・日
ニセアカシア	4,200	0.45	40	100	9.6	20%	50	30%	50
アラマツ	4,200	0.55	40	100		50%	50	50%	50
ホヅラ類	2,100	0.70	40	100		20%	50	20%	50
ヤナギ類	600	0.20	40	100		10%	50	10%	50
灌木	5,800	0.15	80	150		0%		0%	

ニセアカシア

年度	作業種	数量(人、本)	単価(元)	金額(元)	人力
1年目	地拵	105	9.6	1,008	229 人
	苗木	4,200	0.45	1,890	2,198 元
	補付	42	9.6	403	
	小計			3,301	
2年目	下刈	15	9.6	144	資材
	苗木	840	0.45	378	2,835 元
	補付	16.8	9.6	161	
	小計			683	
3年目	下刈	15	9.6	144	
	小計			144	
4年目	下刈	10	9.6	96	
	小計			96	
5年目	苗木	1,260	0.45	567	
	補付	25.2	9.6	242	
	小計			809	
	合計			5,033	5,033

アラマツ

年度	作業種	数量(人、本)	単価(元)	金額(元)	人力
1年目	地拵	105	9.6	1,008	271 人
	苗木	4,200	0.55	2,310	2,601 元
	補付	42	9.6	403	
	小計			3,721	
2年目	下刈	15	9.6	144	資材
	苗木	2,100	0.55	1,155	4,620 元
	補付	42	9.6	403	
	小計			1,702	
3年目	下刈	15	9.6	144	
	小計			144	
4年目	下刈	10	9.6	96	
	小計			96	
5年目	苗木	2,100	0.55	1,155	
	補付	42	9.6	403	
	小計			1,558	
	合計			7,221	7,221

ホヅラ類

年度	作業種	数量(人、本)	単価(元)	金額(元)	人力
1年目	地拵	52.5	9.6	504	171.1 人
	苗木	4,200	0.7	2,940	1,642 元
	補付	45	9.6	432	
	小計			3,876	
2年目	下刈	15	9.6	144	資材
	苗木	840	0.7	588	4,116 元
	補付	16.8	9.6	161	
	小計			893	
3年目	下刈	15	9.6	144	
	小計			144	
4年目	下刈	10	9.6	96	
	小計			96	
5年目	苗木	840	0.7	588	
	補付	16.8	9.6	161	
	小計			749	
	合計			5,758	5,758

ヤナギ類

年度	作業種	数量(人、本)	単価(元)	金額(元)	人力
1年目	地拵	15	9.6	144	63 人
	苗木	600	0.20	120	610 元
	補付	6	9.6	58	
	小計			322	
2年目	下刈	15	9.6	144	資材
	苗木	60	0.20	12	144 元
	補付	1.2	9.6	12	
	小計			168	
3年目	下刈	15	9.6	144	
	小計			144	
4年目	下刈	10	9.6	96	
	小計			96	
5年目	苗木	60	0.20	12	
	補付	1.2	9.6	12	
	小計			24	
	合計			754	754

灌木

年度	作業種	数量(人、本)	単価(元)	金額(元)	人力
1年目	地拵	72.5	9.6	696	151.2 人
	苗木	5,800	0.15	870	1,452 元
	補付	38.7	9.6	372	
	小計			1,938	
2年目	下刈	15	9.6	144	資材
	小計			144	870 元
3年目	下刈	15	9.6	144	
	小計			144	
4年目	下刈	10	9.6	96	
	小計			96	
5年目	改植	0		0	
	小計	0		0	
	合計			2,322	2,322

付表 5.11.1 事業費総括表

(1/2)

	事業量		単価 元	事業費	
	数量	単位		1,000元	US\$1,000
1.実施計画費	0.5	%		2,375	286
2.直接事業費				475,090	57,142
1)土地利用計画				300	36
(1)土地権利書発給促進	30,000.0	戸	10	300	36
2)農地保全計画				15,610	1,878
(1)柵工	23,000.0	カ所	70	1,610	194
(2)ふとんかご	2,000.0	カ所	7,000	14,000	1,684
3)栽培計画				19,680	2,367
(1)ビニルハウス	1,640.0	棟	12,000	19,680	2,367
4)畜産計画				3,720	447
(1)畜牧センター	1.0	式	2,120,000	2,120	255
(2)郷鎮畜牧獣医所	5.0	個所	320,000	1,600	192
5)営農計画				32,200	3,873
トラクタ	1,400.0	台	23,000	32,200	3,873
6)農民支援計画				17,109	2,058
(1)県農業技術普及センター整備	1.0	式	636,000	636	76
(2)植物保護センター整備	1.0	式	96,650	97	12
(3)農業総合サービスステーション整備	5.0	個所	42,800	214	26
(4)農民技術教室建設	102.0	個所	158,451	16,162	1,944
7)農畜産物流通加工計画				51,383	6,180
(1)流通計画				22,709	2,731
①青果物卸売市場整備	1.0	カ所	7,101,000	7,101	854
②家畜市場整備	2.0	カ所	1,909,000	3,818	459
③果樹選果場	3.0	カ所	3,930,000	11,790	1,418
(2)加工計画				28,674	3,449
①澱粉加工施設	1.0	カ所	2,883,000	2,883	347
②配合飼料加工施設	1.0	カ所	1,599,000	1,599	192
③アンズ加工施設	1.0	カ所	9,942,000	9,942	1,196
④食肉加工施設	1.0	カ所	10,237,000	10,237	1,231
⑤カシミア加工施設	1.0	カ所	4,013,000	4,013	483

付表 5.11.1 事業費総括表

(2/2)

	事業量		単価 元	事業費	
	数量	単位		1,000元	US\$1,000
8) 農業農村基盤整備計画				286,298	34,435
(1) 農地整備				199,126	23,950
① ダムランド新設	36.0	カ所	400,000	14,400	1,732
② ダムランド改修	1.0	式		20,400	2,454
③ 棚畑(耕地)	8,660.0	ha	12,829	111,099	13,363
④ 棚畑(樹園地)	2,300	ha	7,175	16,503	1,985
⑤ 川地整備	850	ha	3,869	3,289	396
⑥ 自然草地	32,000.0	ha	585	18,720	2,252
⑦ 人工草地	9,000.0	ha	1,635	14,715	1,770
(2) 灌漑施設整備				36,681	4,412
① 大窯渠改修	1.0	式		8,911	1,072
② 杏子渠改修	1.0	式		4,928	593
③ 真武渠改修	1.0	式		10,519	1,265
④ 川地灌漑施設	1.0	式		8,720	1,049
⑤ 湧水利用かんがい	1.0	式		282	34
⑥ 3次水路	1.0	式		3,321	399
(3) 農道整備	1,096.0	km	5,239	5,742	691
(4) 生活道路整備				29,574	3,557
① 砂利舗装	197.0	km	14,000	2,758	332
② 橋梁	138.0	カ所	100,000	13,800	1,660
③ もぐり橋	138.0	カ所	63,000	8,694	1,046
④ ヒューム管敷設	184.0	カ所	785	144	17
⑤ 土砂掘削	411.0	km	8,035	3,302	397
⑥ 軟岩掘削	103.0	km	8,498	875	105
(5) 飲雑用水整備				2,080	250
① 自然流下方式	136.0	カ所	7,388	1,005	121
② ポンプ方式	109.0	カ所	7,388	805	97
③ 井戸方式	27.0	カ所	10,000	270	32
(6) 通信施設整備	1.0	式		13,095	1,575
9) 森林造成計画				48,790	5,868
(1) 造林				48,230	5,801
① 公有防護林	7,275.0	ha	5,114	37,204	4,475
② 個人防護林	2,970.0	ha	720	2,138	257
③ 用材林	6,830.0	ha	806	5,505	662
④ 薪炭林	4,553.0	ha	617	2,809	338
⑤ 環境保全林	1,138.0	ha	504	574	69
(2) 林業作業ステーション整備	1.0	式		560	67
3. 事務費	10.0	%		47,509	5,714
4. エンジニアリングサービス費	15.0	%		71,263	8,571
5. 物的予備費	10.0	%		47,509	5,714
6. 価格予備費	10.0	%		47,509	5,714
事業諸費 計				213,790	25,713
総事業費				691,255	83,141

付表 5.12.2.1 中国HS商品分類輸出入統計 (1995年)

(単位:百万ドル)

H S 輸 入			輸 入			輸 出			輸 入			輸 出		
商品分類	金額	関税率	金額	関税率	金額	金額	関税率	金額	関税率	金額	金額	関税率	金額	関税率
第1類	448,476	31	27,278	19	179,990	428,150	39	899,952	20	160,325	1,208,069	72	478,740	10
1	50,317	12	439	20	19,665	353,548	40	98,327	20	19,665	72	478,740	10	58,805
2	102,143	45	4,283	17	43,566	74,602	41	248,655	15	33,760	73	279,658	15	32,336
3	208,728	30	17,961	45	3,372	564,255	42	225,073	40	6,434	74	54,713	12	23,462
4	16,220	50	3,181	43	21,338	39,541	43	7,495	40	6,434	75	3,104	8	430
5	71,068	20	1,434	44	15,839	490,313	44	16,087	10	15,839	76	70,153	15	20,517
第2類	413,892	5	21,338	45	15,839	34,401	45	16,087	10	15,839	77	14,678	8	75
6	2,759	20	1,21	46	15,839	214,708	46	156,374	10	15,839	78	21,379	12	1,537
7	171,339	22	1,707	47	1,707	140,673	47	156,374	10	15,839	79	21,379	12	1,537
8	47,981	40	3,351	48	3,351	378	48	710	10	15,839	80	24,328	15	586
9	46,544	50	773	49	773	73,657	49	525	25	131	81	49,213	15	847
10	7,609	2	7,163	50	7,163	110,838	50	525	25	131	82	122,598	25	5,239
11	10,097	30	2,152	51	2,152	2,924	51	84,452	2	1,689	83	89,605	25	7,741
12	117,009	20	3,745	52	3,745	92,337	52	232,168	25	58,042	84	2,766,715	19	901,038
13	4,490	20	534	53	534	43,993	53	19,919	15	2,987	85	1,899,620	18	349,536
14	6,064	20	1,791	54	1,791	3,587,809	54	1,581,917	23	377,119	86	124,439	7	1,353
第3類	45,939	19	52,378	55	52,378	117,274	55	17,631	20	3,526	87	183,246	50	135,964
15	45,939	20	52,378	56	52,378	77,288	56	165,580	20	33,116	88	14,442	5	6,806
16	111,575	45	542	57	542	365,033	57	335,977	15	50,396	89	8,789	9	9,818
17	23,383	30	28,052	58	28,052	43,993	58	19,919	15	2,987	90	470,331	26	119,948
18	4,132	40	902	59	902	63,769	59	337,925	20	67,585	91	242,802	45	52,013
19	21,083	40	902	60	902	20,506	60	39,494	35	13,822	92	17,973	35	2,112
20	108,316	50	749	61	749	54,378	61	55,074	40	1,436	93	20,621	44	7,044
21	21,845	45	2,984	62	2,984	29,790	62	94,185	35	32,964	94	292,973	40	8,257
22	39,048	65	2,429	63	2,429	90,740	63	97,518	35	34,131	95	541,519	40	18,471
23	33,591	6	2,521	64	2,521	90,740	64	17,874	40	7,149	96	113,696	50	18,718
24	99,901	65	23,331	65	23,331	693,735	65	17,874	40	7,149	97	4,392	14	177
第5類	672,286	8	62,049	66	62,049	1,434,521	66	72,625	40	29,050	98	2	157	0
25	126,561	7	835	67	835	256,198	67	5,430	35	1,900	99	2	157	0
26	12,270	5	9,887	68	9,887	815,868	68	5,430	51	23,320	99	2	157	0
27	533,455	10	51,327	69	51,327	666,173	69	34,128	55	18,770	99	2	157	0
第6類	842,073	11	114,668	70	114,668	36,513	70	7,283	40	2,767	99	2	157	0
28	222,878	10	6,288	71	6,288	49,061	71	557	38	2,767	99	2	157	0
29	321,904	15	49,310	72	49,310	64,121	72	7,283	38	2,767	99	2	157	0
30	61,999	10	2,545	73	2,545	266,460	73	94,834	26	24,799	99	2	157	0
31	13,586	5	18,707	74	18,707	71,430	74	21,945	25	5,486	99	2	157	0
32	72,883	12	9,519	75	9,519	124,312	75	21,834	30	6,550	99	2	157	0
33	26,376	45	2,155	76	2,155	70,718	76	51,055	25	12,763	99	2	157	0
34	21,605	25	5,230	77	5,230	70,718	77	102,747	24	25,686	99	2	157	0
35	6023	20	4,685	78	4,685	70,718	78	102,747	25	25,686	99	2	157	0
36	19,514	20	200	79	200	70,718	79	102,747	25	25,686	99	2	157	0
37	8,210	25	3,352	80	3,352	70,718	80	102,747	25	25,686	99	2	157	0
38	67,095	12	12,837	81	12,837	70,718	81	102,747	25	25,686	99	2	157	0
中計	2,885,340	12	340,387	中計	340,387	6,058,806	中計	3,465,110	21	750,934	中計	5,828,334	19	1,379,169
											合計	14,772,480	18	2,470,490

関税率は関税互恵協定国かどうかで変わるが、ここでは関税互恵協定国と仮定して関税金額を算出した。
輸出税がかかっている品目は限りなくゼロである。またそれが全体金額に及ぼす程度はほぼゼロである。輸出税は考慮しない。

標準変換係数(SCF)= 0.919
消費財変換係数(CFO)= 0.930